

文部科学省 平成 25 年度先導的<sub>レ</sub>大学改革推進委託事業

米国における短期高等教育機関の社会（地域）貢献  
及びその評価に関する調査研究

平成 26 年 3 月

一般財団法人 短期大学基準協会



# 目次

## はじめに

### I. 本調査研究について

- 1. 本調査研究の方法等 . . . . . 1
- 2. 本調査研究の日程 . . . . . 2
- 3. 派遣委員 . . . . . 2

### II. 調査結果

- 1. 米国教育評議会  
(American Council on Education, ACE) . . . . . 3
- 2. 米国コミュニティ・カレッジ協会  
(American Association of Community Colleges, AACC) . . . . . 7
- 3. 米国西地区学校・大学基準協会／二年制高等教育認定委員会  
(Western Association of Schools and Colleges / Accrediting  
Commission for Community and Junior Colleges, WASC /  
ACCJC) . . . . . 15
- 4. コミュニティ・カレッジ . . . . . 20
  - 4-1. Northern Virginia Community College . . . . . 20
  - 4-2. Diablo Valley College . . . . . 26
  - 4-3. Laney College . . . . . 32

- 結び . . . . . 38

## 資料編

## はじめに

現在、我が国は、急速な少子高齢化の進行、地域コミュニティの衰退など多くの問題に直面しており、高等教育機関は様々な問題解決を担う人材養成の場として大きな責務が課せられております。我々短期大学関係者にとりましても、厳しい運営状況の中、高等教育に課せられた責務を果たすとともに、地域社会からは短期大学の特色・強みを生かしつつ、社会貢献の機能の充実という大きな期待が寄せられています。

平成 24 年 8 月、中央教育審議会は「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）」において、短期大学士課程の在り方について、速やかに審議する事項として取りあげ、現在、中教審において、短期大学の機能の再構築及び役割の充実について本格的に審議がなされております。この中教審大学分科会大学教育部会における、専門的職業能力の教育、学士課程教育への接続教育、地域の生涯学習の拠点機能、短期大学教育の質保証など、多岐にわたる議論の視点のうち、コミュニティ・カレッジ機能については、我々短期大学がこれまで積み重ねてきた人材養成及び地域貢献の実績を踏まえ、地域に必要な存在として一層充実を図るための重要な視点であると言えます。

今回の本調査研究は、短期大学の社会（地域）貢献についての示唆を得ることを目的に、地域社会と密接に連携し、効果をあげている米国のコミュニティ・カレッジの現状、それに関する米国の政策動向及びその評価について、関係団体及びコミュニティ・カレッジを訪問調査したものです。米国の 3 校のコミュニティ・カレッジ及び 2 つの教育関係機関、加えて本協会が連携協定を締結している米国西地区学校・大学基準協会二年制高等教育機関認定委員会（ACCJC）のチームトレーニングにおけるヒアリング調査の成果が、我が国の短期大学における地域貢献の振興・発展を促す議論のきっかけとなることを願っております。

今回の調査研究では、事前の調査日程調整が非常に短期間であったにもかかわらず、ACE、AACC 及び ACCJC のスタッフの皆様をはじめ、コミュニティ・カレッジの皆様には快く調査にご協力いただき、非常に有益なご意見を頂戴しました。また、調査研究の実施にあたり、本協会理事長の関口修先生、理事のジョイス津野田幸子先生には、公務ご多用のなか、多くの時間を割いてくださり、多方面にわたりご指導、ご助言いただき、ここに厚く御礼申し上げます。

一般財団法人短期大学基準協会 理事  
国際交流推進チーム リーダー

大野 博之

## I. 本調査研究について

### 1. 本調査研究の方法等

#### (1) 米国高等教育関係団体及び認証評価団体への聞き取り調査

##### 訪問先

- (a) 米国教育評議会 (American Council on Education, ACE)
- (b) 米国コミュニティ・カレッジ協会 (American Association of Community Colleges, AACC)
- (c) 米国西地区学校・大学基準協会／二年制高等教育認定委員会 (Accrediting Commission for Community and Junior Colleges / Western Association of Schools and Colleges, ACCJC / WASC)

事前に訪問先へ送付した質問事項を基に、米国におけるコミュニティ・カレッジの役割・機能及びそれに対する連邦・州政府の政策等に関して情報を収集するとともに聞き取りを行い、米国高等教育におけるコミュニティ・カレッジの位置付けなどについて調査した。また、(C) の ACCJC に対しては、認証評価の観点からコミュニティ・カレッジの地域貢献に関する情報収集も行った。

なお、事前送付した質問事項は共通事項も含め、各団体の事業目的・対象等に応じた内容とした（質問事項は巻末の資料編「I.質問事項」を参照）。

#### (2) コミュニティ・カレッジへの聞き取り調査

##### 訪問先

- (a) Northern Virginia Community College (Washington D.C.)
- (b) Diablo Valley College (San Francisco)
- (c) Laney College (San Francisco)

事前に訪問先へ送付した質問事項を基に、コミュニティとの連携方法とその改善・維持活動及びコミュニティとの連携と教育プログラムの関係等を中心に聞き取りを行い、コミュニティ・カレッジが担う地域貢献の実態及びその意義について調査した（質問事項は巻末の資料編「I.質問事項」を参照）。

## 2. 本調査研究の日程

平成 26 年 2 月 2 日	成田国際空港～ワシントン・ダレス国際空港(Washington D.C.)
2 月 3 日	ACE (Washington D.C.)
	AACC (Washington D.C.)
2 月 4 日	Northern Virginia Community College (Washington D.C.)
2 月 5 日	ワシントン・ダレス国際空港～サンフランシスコ国際空港(San Francisco)
2 月 6 日	Diablo Valley College (San Francisco)
2 月 7 日	Laney College (San Francisco)
	ACCJC's team training(San Francisco)
2 月 9 日～ 2 月 10 日	サンフランシスコ国際空港～成田国際空港

## 3. 派遣委員

本協会国際交流推進チームより、大野博之（国際学院埼玉短期大学 副理事長・学長）、麻生隆史（山口短期大学 理事長・学長）の各理事、本協会事務局より櫻井一江事業課長を派遣した。

## II. 調査結果

### 1. 米国教育評議会 (American Council on Education, ACE)

ACE は 1918 年に設立された非営利団体で、学位授与権を有し、ア krediteーション機関の認定を受けた全てのタイプの高等教育機関 (4 年制大学・コミュニティ・カレッジ、公立・私立、営利・非営利大学) のメンバーシップ制から成り立っている<sup>1</sup>。約 1,800 の会員組織を傘下に置く ACE は、米国で最も影響力がある 6 つの高等教育関係団体<sup>2</sup> の 1 つでもある。その活動として、高等教育の諸問題に関する調査研究や実践的プログラム等を通して高等教育機関を支援・評価するとともに、高等教育機関の多様な意見を 1 つに集約して連邦政府に対する提言等を行っている。また、米国高等教育の国際化についての自己点検・評価に係る評価ガイドラインを策定するなど、国際教育評価に関しても精力的に取り組んでいる<sup>3</sup>。

#### 【聞き取り調査対象者】

Bradley D. Farnsworth, Assistant Vice President

Katie Weigel, Program Specialist

#### 【米国高等教育の概況】

- 学位授与機関数：4,703 校 (2010-2011)
  - 2 年制カレッジ：公立 967 校、私立 770 校
  - 4 年制カレッジ：公立 238 校、私立 1731 校
  - ユニバーシティ：公立 444 校、私立 553 校
- 学生数：全体 20,994,113 人 (2011 fall / National Center for Education Statistics)
  - 男性 43.0%、女性 57.0%
  - フルタイム 61.9%、パートタイム 38.1%
- 卒業者数 (2011 fall / National Center for Education Statistics)
  - 4 年制：Certificates 85,532 人、Associate's degree 289,435 人、

---

1 野田文香「米国における大学国際化評価の動向と課題」、『大学評価・学位研究』第 14 号、大学評価・学位授与機構 2013 年 3 月、41 頁。

2 American Council on Education(ACE), Association of American university(AAU), American Association of State Colleges and Universities(AASCU), Association of Public and Land-grant Universities(APLU), American Association of Community colleges(AACC), National Association of Independent Colleges and Universities (NAICU).

3 芹沢真五、長澤誠、野田文香「米国教育における国際化戦略と評価 — 政府・第三者機関・大学の役割と分析」、『高等教育研究叢書』第 100 号、広島大学高等教育研究開発センター 2008 年 7 月、39 頁。

Bachelor's degree 1,715,913 人

- 2年制 : Certificates 665,139 人、Associate's degree 652,901 人
- 男性 1,300,241 人 (39.7%)、女性 1,972,928 (60.3%)

## 1-1. 高等教育関係団体の役割と機能

### ACE の目的とミッション

米国の連邦政府は高等教育の管理・規制等に対して限定的な役割しか持たないことから、非政府組織の役割と機能は非常に重要な位置を占めている。ACE は高等教育関係団体の中で最も包括的な組織で、小規模カレッジから非常に大きな研究型大学までをカバーする統括団体 (umbrella organization) ともいわれる。

主な役割は、高等教育機関を代表し、その利益のために擁護すること (advocacy) である。とりわけ、連邦政府に対する高等教育全体の統一見解の提示は重要であり、全ての高等教育に共通する方針の議論に当たっては、その他の団体や会員校とのパイプ役も務め、議論のプロセス全体の調整を図っている。なお、こうした活動はしばしばロビー活動 (lobbying) といわれるが、ACE では advocacy と呼び、「高等教育のために／に代わって語る」という自らの活動の性格をより鮮明にしている。

また、高等教育に関する調査研究やプログラム開発も ACE の主要な役割の 1 つである。聞き取り調査を行った Farnsworth 氏と Weigel 氏は ACE の国際化部門に所属しており、海外留学プログラムや国際的な共同研究の充実といった、米国における教育機関の更なる国際化に資するプログラムの開発・実施に携わっている。

2011 年のデータによると、全米高等教育機関の学生数は約 2,000 万人、教育機関は約 4,700 校 (教員は約 150 万人、職員は約 350 万人) を超えるが、4,700 の教育機関の多くが 1,000 人程度の小規模校で、財政的に非常に厳しい状況下にあるという。

なお、聞き取り調査では、米国高等教育システムにおいて連邦政府が学位プログラムやカリキュラムに対する直接的な規制等の権限を持たない理由の 1 つに、宗教の影響があげられていた。教育機関がミッションとして掲げる宗教的信条は尊重されるべきであるという、信教の自由の原則が堅持されている 1 例であろう。

### 6 つの高等教育関係団体 ‘ビッグ 6’ : それぞれの役割

米国高等教育関係団体の中で、特に影響力のある団体 6 つは「ビッグ 6 (Big Six)」と呼ばれている。上述のとおり、ACE は高等教育のあらゆる部門を代表する包括的な団体であるのに対して、その他の 5 つは特定のタイプの機関を代表する団体であり、それぞれ独自の役割を備えている。

5 つの団体とは、主要な研究型大学を会員とする米国大学協会 (AAU)、州立の教育大学を中心とするアメリカ州立大学協議会 (AASCU)、州立の比較的大規模な研究型大学を主な会員とする公立・ランドグラント大学協会 (APLU)、非営利の私立大学を会員とする全米独立大学協会 (NAICU)、そして今般の調査研究の訪問先である米国コミュニティ・

カレッジ協会（AACC）であり、これらの団体の会員から米国高等教育を構成する主要な部分をみてとることができる。

なお、営利の私立大学を会員とする団体もあり、相当数の会員を有するという。ただし、営利機関の達成目標は非営利機関と全く異なるため、米国においては、そうした機関を支援する団体が高等教育の政策立案へ完全に関与することには慎重であるとのことであった。

## 1-2. 連邦政府による高等教育への3つの支援

米国では、ハーバード大学等いくつかの例外を除いて、連邦助成は高等教育機関に対する直接支援の形をとらずに、次の3つのシステムに基づき実施されている。

第一に、学生個人に直接経済援助を行う（student aid）というもの。この援助が認められた学生は入学先を自由に決めることができる。2011年は総額1,560億ドルで、連邦助成の中でも飛び抜けて大きな援助となっている。

次に、研究費としての財政支援。ただしこれは、高等教育における研究一般に対するものではなく、特定の研究プロジェクトに対する援助である。つまり、高等教育機関においてなされている研究に資金を提供するにしても、その目的は機関としての質の向上ではなく、特定分野の研究成果に向けられていると考えられる。

3つ目は税控除。米国では、非営利団体へ寄付した場合、一部税金が控除されるため、高等教育の場においてもこの税の優遇が大きく機能しているという。

これら3つの支援による連邦政府支出を1991年と2012年の支出額で比較してみると、かなりの伸びを示していることが分かる。1991年支出では、学生への経済援助350億ドル、研究助成100億ドル、税優遇10億ドル以下であったものが、それぞれ1,560億ドル、410億ドル、340億ドルと増えている（資料編「Ⅱ.参考資料」(1)より）。

なお、近年、高等教育機関の説明責任に関心が集まっている背景には、後述の連邦助成制度の見直しの動きがあり、今般の調査研究の訪問先のほとんどが、公的な財政支援の成果を客観的かつ具体的に示すべきという要求にどう応えるかを重要な課題としてあげている。

## 1-3. 高等教育をめぐる近年の議論とその傾向

### 経済状況の影響

2008年に始まる大不況は、米国高等教育機関に関係する多くの金融問題を引き起こした。まず、州政府による財政支援水準の引き下げの動きである。米国において、2008年の学生数1,910万人に対し、3年後の2011年は180万人増の2,090万人となり、不況であっても入学者数が増加した一方で、州政府による公立機関への財政支援は学生一人当たりで見ると減少しているという。入学者増の裏には失業者の増加があり、より高度なスキルや修了証を求めて高等教育機関に再入学する社会人も多い。さらに、家計に占める教育費の割合が低くなるとともに、多くの家庭がより手の届く公立の高等教育機関に選択の幅を狭め

るか、奨学金による債務を抱える学生になるか、あるいは進学断念という厳しい状況に拍車をかける結果となった。

次に、ハーバード大学やエール大学などの私立大学に対する影響である。これらの私立大学には多額の寄附や投資がなされており、株式市場の悪化は寄附や投資の減少に直結し、経営に大きな打撃を与えることになった。こうした状況は、当然、個人による寄附や投資行動にも影響を及ぼしている。

### 非伝統的学生の増加

米国では、カレッジに入学し、仕事に就かず、家庭もなく、全ての時間を学習に費やすことのできるフルタイムの学生を「伝統的な学生」と呼び、「非伝統的な学生」と区別している。「非伝統的な学生」とは、仕事に就いており、家庭があつて子供もいるような学生を指す。両者は教育上の目標が違っており、高等教育機関においても当然異なる対応が求められる。米国においては社会人の（再）入学に対してコミュニティ・カレッジのような機関が受け皿として機能しているため、仕事を続けながらの修学が可能であり、入学者の平均年齢も自ずと高くなる。非伝統的な学生の増加は、上述した経済状況が大きく関係しており、働きながら修学すれば数コースを履修するのが精一杯で、卒業までに長い時間を必要とする。

また、近年は学業を断念して1、2年経ってからまた復学するという若者も少なくなく、修学形態の多様化も進んでいる。

さらに、修学形態の多様化という観点からいえば、従来の遠隔教育（distance education）とは別の、オンライン教育の占める割合が次第に大きくなっている。オンライン教育は大規模無料オンライン講座（Massive Open Online Courses）とも呼ばれ、通学コースに比べ学費も安く、今後の更なる拡大が予想される。ただし、オンライン教育の場合、教室での経験と同じ質の教育が実際に提供できるのかという点については今後の検証課題であるという。

### 高等教育機関の説明責任と質保証

高等教育機関に説明責任を求める連邦政府及び州政府の懸念は、高等教育が学生に対する効果的な就業準備教育を行っているかという点に向けられている。就職に当たって必要な知識・技術を提供し、その後の職業上の成功を収めるだけの準備をさせているのか、つまり、社会のニーズに応える優秀な人材を育成するという高等教育機関の役割を果たしているのかという問題である。こうした懸念は、世界で10番目程度にとどまる、近年の米国における成人の学位取得率の低さにも起因するという。

こうした懸念を背景に、連邦政府及び州政府の関心は高等教育機関の質保証に向けられ、特に、どのような方法で教育の質を測るのかという点に集中している。しかしながら、米国の教育システムにおいて実際に質保証の機能を担うのは連邦政府ではなく、ア krediyteshon機関である。高等教育機関の認定に当たって、ア krediyteshon機関は教育プログラムやカリキュラムを点検し、教員組織、学生支援、ガバナンス、キャンパスの

施設設備等の状況を確認し、長期計画を見極めた上で機関全体の質を評価する。連邦政府及び州政府からの補助金等はアクレディテーション機関による認定の有無に左右されるため、その役割は非常に大きい。

他方、この過程に直接関与しない連邦政府の立場からすれば、高等教育機関をはじめ、アクレディテーション機関や高等教育関係団体は、高等教育が公的資金を経済的かつ効果的に活用しているかどうかを自ら証明する責任があるというわけである。

2013年8月、オバマ米大統領は、高等教育に対する新たな連邦助成制度の導入計画を発表した<sup>4</sup>。これは、①教育機関の実績に応じた助成（Paying for Performance）、②イノベーションと競争の促進（Promoting Innovation and Competition）、③学生の債務適正化（Ensuring that Student Debt Remains Affordable）の3つの柱から成る計画であり、なかでも、①に係る評価システムの策定は2015年を目標とし、さらにそのシステムに基づく学費援助の法制化については2018年を目指すとの方針が示されている。

こうした計画に期待が寄せられる一方で、聞き取り調査においては、機関の実績評価で提案されている卒業率や学位取得者の初任給の額といった成果指標による測定は高等教育の現実に照らして不十分であるとの説明があった。提案された指標は伝統的学生の修学形態にはある程度有効かもしれないが、先にみたような非伝統的学生の存在を見据えた再考が必要であるという。

例えば、卒業までの期間ひとつとっても、就労しながらのパートタイムの学生では当然ながら長期になることが予想され、そうしたパートタイム学生の「成果」（卒業率や就職率等）と伝統的学生の成果を同列で評価できるのか、また、測定に当たって機関の設置地域の産業構造や経済状況の違いをどのように指標に盛り込むのかなど、評価方法の更なる精緻化が求められている。教育の質をどのように測定するかという問題は、今般の調査研究の全ての訪問先が何らかの文脈で言及しており、財政状況、説明責任とあわせて以下の報告のキーワードになっている。

## 2. 米国コミュニティ・カレッジ協会（American Association of Community Colleges, AACC）

AACCは1920年に創設され、2回の名称変更を経て1992年から現在の名称となった全米非営利組織である。AACCの目的は、2年制高等教育機関であるコミュニティ・カレッジの擁護・支援であり、現在約1,100校の会員を有している。AACCは、上述のACEと同様、米国で最も影響力のある6つの高等教育関係団体のメンバーであり、連邦政府に対してコミュニティ・カレッジの利害関心を代表し、教育政策等に関する提言等を行うことを主な役割としている。また、AACCは、会員に対するリーダーシップ開発や労働力開発

---

<sup>4</sup> ‘A Better Bargain for the Middle Class: Making College More Affordable’  
<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2013/08/22/fact-sheet-president-s-plan-make-college-more-affordable-better-bargain>

などの機会提供を通して、コミュニティ・カレッジの社会的機能の向上・充実に支援している。

【聞き取り調査対象者】

Alice Blayne-Allard, Associate Vice President for International Programs & Services

【米国コミュニティ・カレッジの概況】

① 2年制学位授与機関

- 機関数：1,738校（2011-2012 / National Center for Education Statistics）
  - 公立 967校、私立 771校（非営利 100校、営利 671校）
- 学生数：7,499,982人（2011 fall / National Center for Education Statistics）
  - 男性 42.3%、女性 57.7%
  - フルタイム 42.1%、パートタイム 57.9%
- 卒業者数（2010-2011 / National Center for Education Statistics）
  - Certificates 665,139人
    - 男性 279,816人（42.1%）、女性 385,323人（57.9%）
  - Associate's degree 652,901人
    - 男性 252,565人（38.7%）、女性 400,336人（61.3%）

② AACC 会員校数 1,132校（2014 Fact Sheet / AACC）

- 公立 986校、インデペンデント（私立）115校、部族カレッジ 31校

## 2-1. AACC の組織運営

AACC の運営費の大半は会費であり、会員が組織の運営や活動を支えている。また、AACC は、コミュニティ・カレッジの特別支援プログラム等のための、多くの連邦政府及び民間からの助成金を管理している。最も大きな連邦助成金の 1 つは、National Science Foundation のからのもので 20 年間提供を受けており、AACC はその助成金を基にプログラム実施の媒体として機能している。民間助成金の中で最も大きなものは Goldman Sachs Foundation からの助成金で、中小企業家育成やベンチャー企業育成に対する援助を行っている。さらに、AACC には、後述の Workforce Development Institute を運営し、多くの民間助成金を管理する Center for Workforce Development がある。

なお、聞き取り調査を行った Blayne-Allard 氏が所属する Office of International Programs and Services は、連邦政府への提言のほか、コミュニティ・カレッジの国際化を支援するとともに、とりわけ自文化を越えて働く意義を知る熟練の労働者の養成を重視

し、国際競争、異文化に対する専門知識の重要性の周知に取り組んでいる。

## 2-2. AACC の目的とミッション①：利益擁護活動 (advocacy)

AACC の前身の団体の設立は 100 年以上も前に遡り、米国はまさに戦争と大恐慌による不況が始まった時代であった。同じ頃、職業・技術訓練機関がアメリカの産業に対応しはじめる一方で、より多くの市民に高等教育への門戸を開くための動きが起こり、地域（コミュニティ）の中にあり、何よりも地域のニーズに応え門戸を開く「コミュニティ・カレッジ」という考えが形成された。現在のコミュニティ・カレッジは、まさに 1900 年初頭に掲げられたミッションを継承している。

AACC は全てのコミュニティ・カレッジを代表する全米組織であり、組織の目的の第一は連邦政府に対してコミュニティ・カレッジを代表し、その利益を擁護することである。AACC の Office of Government Relations and public policy には 4 人のロビイストがおり、議会や連邦政府機関から提出される法律及び政策を分析し、コミュニティ・カレッジに対する影響を判断して、必要があれば連邦政府に対して提言する。近年の例でいえば、2001 年の 9.11 以降に起こった米国のビザ申請手続きの厳格化は、多くの留学生を受け入れるコミュニティ・カレッジの利益擁護として AACC が提言を行ったケースの 1 つである。

## 2-3. AACC の目的とミッション②：会員サービス

### リーダーの養成 (professional development opportunities)

AACC は各機関の長を会員とする団体であり、副学長や学部長も会員になることができるが、第一の目的は機関を運営する学長に対する支援にある。米国では近年、学長の退職率が非常に高く、その影響は高等教育機関を越えて多方面に及んでいるという。そのため、社会の急速な変化に即座に応えられる新しい学長の養成として、AACC は Leadership Suite<sup>5</sup> というプログラムを提供している。このプログラムでは、今現在副学長や学部長等の職にあつて学長職に興味を持ちかつ才能のある人々に対して、より早く学長職が担えるよう専門的なトレーニングを実施している。

また、新任の学長に対してもトレーニングなどの専門性向上のための機会を設けている。たとえ学長職に就くことができても、その専門性を維持するのは非常に難しく、ほとんどの学長は 3～5 年の内に退職するという現実があり、機関の安定性のためにも現職の学長に対する指導・助言やトレーニングが欠かせない。新任の学長はファカルティとしての経験は豊富でも、ビジネス開発、公共政策、メディア等に関してはより専門的な知識と訓練が必要かもしれないからである。

コミュニティ・カレッジに限っていえば、昨年は学長の 20% が退職しており、これだけ多くのリーダーシップを失ってしまうとその損失を取り戻すには相当の時間を要する。

---

<sup>5</sup> <http://www.aacc.nche.edu/newsevents/Events/leadershipsuite/Pages/default.aspx>

AACCにとって、十分なリーダーシップのパイプラインを確保し、管理・維持することは大きな挑戦の1つになっている。

#### 年次大会 (annual convention)

全コミュニティ・カレッジが一堂に会する年次大会(有料)は3~4日間の日程で毎年4月に開催されている。3,000人以上の学長、副学長及び教員が参加し、専門家による講演をはじめ、コミュニティ・カレッジによる多くの教育セッションや実践例のショーケースなどが行われる。2014年は「大いなる期待—21世紀における学生の成功のための課題解決に向けて」というテーマの下、ワシントンD.C.で開催される。

なお、年次大会はネットワーキングにとって最適の機会として外国からの参加を奨励しており、参加希望があれば、AACCは大会への参加のみならず、コミュニティ・カレッジへの訪問調整なども行うとのことであった。

#### Workforce Development Institute

毎年1月の終わりから数日間開催される Workforce Development Institute<sup>6</sup>は、政策決定機関や産業パートナーなどが多数参加する大規模な学長及びキャリア・技術系担当者向けのイベントであり、コミュニティ・カレッジレベル及び地域レベルそれぞれの経済発展に関する最近の動向や問題について多くのセッションが行われている。

#### 広報活動 (Policy briefs and Data Points)

AACCは、高等教育一般及びコミュニティ・カレッジの動向やそれらに関する政策等を絶えずチェックし、例えばある州で問題が起こった時はほかの州でも同じ問題が生じていないかどうかを確かめ、それが国全体に影響を与えると思われるような場合などはポリシー・ブリーフ (policy brief) やデータ・ポイント (data point) を作成して周知に努めている。

ポリシー・ブリーフは、コミュニティ・カレッジの教育活動やその動向などをテーマごとにまとめた冊子であり、最近の例ではコミュニティ・カレッジの役割を紹介する冊子 'Community College Contributions'<sup>7</sup> が刊行されている。

他方、データ・ポイントは、高等教育一般及びコミュニティ・カレッジに関する重要な動向等をスナップショットのようにコンパクトにまとめたもので、適時作成されている。

---

<sup>6</sup> 2014年のフロリダ開催のプログラム

[http://www.aacc.nche.edu/newsevents/Events/wdi/Documents/wdi2014\\_finalprogram.pdf](http://www.aacc.nche.edu/newsevents/Events/wdi/Documents/wdi2014_finalprogram.pdf)

<sup>7</sup> <http://www.aacc.nche.edu/Publications/Briefs/Pages/pb01302013.aspx>

なお、聞き取り調査において、AACCは環境保全にも取り組んでいるとの話があったが、これらの冊子をAACCのサイトからダウンロードする際、フルカラー版、モノクロ版、要約版から選ぶことができるように設定されており、利用者に対するエコフレンドリーな配慮もなされている。

2014年3月掲載のデータ・ポイントは、'Economic Impact of International Students'<sup>8</sup> というタイトルで、コミュニティ・カレッジへの留学生が2012年の米国経済に対して26億ドルの収入をもたらしたことを紹介している。

## 2-4. 米国コミュニティ・カレッジの特色と社会的機能

### 全米コミュニティ・カレッジ共通のミッション

現在、米国には1,100以上のコミュニティ・カレッジがあり、学生は1,300万人を越え、在学生数では最も大きな高等教育機関である。米国のコミュニティ・カレッジは州政府の監督下にあるため、実際には州それぞれの関心や優先順位に基づく50もの異なったタイプのコミュニティ・カレッジが存在するといってもいいほど違いがあるという。それでも、オープンアクセス、地域コミュニティのニーズへの対応、そして労働力開発は、コミュニティ・カレッジの由来からみれば義務ともいえる共通のコア・ミッションである。

### 教員

米国の評価は独立した各地域のアクレディテーション団体によって行われており、コミュニティ・カレッジも4年制高等教育機関と同じ基準で評価される。そのため、コミュニティ・カレッジの教員は4年制の機関の教員と同様、自らの教授内容に適した資格を有する者でなければならない、明確な評価のプロセスと管理の下にある。また、研究よりも教育を重視するコミュニティ・カレッジにあって、教員の多くは担当分野の実務経験を持ち、クラスのサイズも通常20人から25人程度の規模に設定することによって、オープンアクセスによる多様な学生の向上心を高めるために1対1のきめ細かい指導の確保に努めている。

### 費用対効果 (cost effective)

コミュニティ・カレッジのオープンアクセスは、学生が負担できる範囲の学費設定に支えられている。コミュニティ・カレッジにかかる費用は平均で年間約3,000ドルほどであるのに対し、4年制高等教育機関では公立でも9,000ドルにもなる。さらにコミュニティ・カレッジの学生は自宅から通っていることが多く、そのため費用を抑えることができるが、米国では学士課程や修士・博士課程の卒業時に大きな負債を抱える学生が少なくなく、現在、高等教育の価値と学費の適正化と並んで、深刻な問題として議論の俎上に載せられている。

### キャリア・職業教育

キャリア・職業教育としての修了証プログラムはコミュニティ・カレッジの大きな柱の

---

<sup>8</sup> [http://www.aacc.nche.edu/Publications/datapoints/Documents/InterlImpact\\_03112014.pdf](http://www.aacc.nche.edu/Publications/datapoints/Documents/InterlImpact_03112014.pdf)

1 つである。この分野では特に産業パートナーが大きな位置を占めており、もし産業パートナーが必要とする労働力のスキルを変更すれば、それに従ってコミュニティ・カレッジはプログラムを見直さなければならない。そのため、各コミュニティ・カレッジは事業者団体や規制機関等の関係者を構成員とする諮問委員会 (advisory committee) を設置し、カリキュラム等が社会の変化に対応しているかを検証するとともに、新たなカリキュラムの開発や教員の質向上に当たっている。

コミュニティ・カレッジの学生の平均年齢は 28 歳で、何かしらの理由で修学を断念せざるを得なかった学生も多い。また、家族の中で初めてカレッジに入学する者であるケースも珍しくない。他方で、高等教育機関において資格を取得し、いったん就職したものの、更に別の高度なスキルや経験を求めてコミュニティ・カレッジに戻ってくるケースには、修士号や博士号取得者も含まれている。Reverse enrollment といわれるこの現象は、労働力の変化に応じて今後も増加するとみられている。

例えば、数年前、ある事業者団体では求人を出しても十分な応募者が確保できなかった。背景には、製造業はブルーカラーの仕事で不安定だという思い込みがあったというが、現在多くの製造業は、先端技術の知識とスキルを要するホワイトカラーの仕事であり、テクノロジーが労働形態を変えたように、社会の変化に対応して従来の認識を変えることも重要となってくる。

なお、より上位の学位や資格を求めて学生が (再) 入学することはコミュニティ・カレッジの強みであり柔軟性でもあるのだが、後述するように、その柔軟性は同時に学生のデータ追跡及び達成度測定を困難にしている。

### 高等学校との接続

AACC は高等学校との接続として、「共通のコア・カリキュラム」(common core curriculum) の可能性に注目している。コア・カリキュラムは、中等教育から中等後教育へのパイプラインを作り、高校生が中等後教育へ進んだ際のギャップを埋める機能を果たし、社会階層の上昇を支援する。

さらに、複数機関が連携して学位を授与するジョイント・ディグリー (joint degree) は、コア・カリキュラムと同様、就業までの近道を支援する仕組みである。この仕組みでは、高校 2 年生ないし 3 年生において準学士号取得プログラムが履修できるだけでなく、高校卒業時に準学士号の取得も可能なため、準学士号取得の 2 年間で短縮され、学費負担を軽減する経済支援の 1 つとしても機能している。

### コミュニティ・カレッジの達成度評価

高等教育における卒業率及び達成度は、オバマ米大統領が連邦助成制度の導入計画を提案したこともあって、現在衆目を集めているが、AACC はコミュニティ・カレッジに関する米国教育省 (U.S. Department of Education, USDE) によるデータは必ずしも現実を反映していないと感じており、流動性の高いコミュニティ・カレッジの学生に関するデータの収集方法を見直すようロビー活動を行っている。

例えば、アカデミックな編入学プログラムを履修する学生のうち、62%は実際に4年制プログラムへの編入を実現しており、非常に高い達成率をあげている。しかしながら、米国教育省のデータでは、これらの学生はコミュニティ・カレッジにおける課程を修了せずに転学したとみなされており、修了率にはカウントされていない。

さらに、ここ数年、連邦政府のデータには修了証取得に関する集積がないことも懸念の1つである。社会のニーズに応える労働力の育成という観点からすれば、学生の全てが準学士号やそれ以上の学位を必要とするわけではなく、そのためAACCCは、コミュニティ・カレッジによる教育効果を示すために、修了証取得率を含め、独自のデータ収集及び測定の仕事みを提案している。Voluntary Framework of Accountability<sup>9</sup>と呼ばれる枠組みは、カレッジ準備教育、修了・編入の測定、キャリア・技術系教育等、コミュニティ・カレッジのミッション及び学生の多様な目標及び成果を測定する試みで、現在多くのコミュニティ・カレッジの協力の下、開発が続けられている。

ただし、アカデミック・プログラムであれば学生は概して3年以内に伝統的な2年間プログラムを修了し編入するが、その他の学生たちは家庭の状況等様々な理由で修了まで何年もかかるケースがあり、コミュニティ・カレッジにおける学生の流動性が正確な追跡を困難にしているのは確かである。

また、AACCCは、職業プログラムの拡充等を目的とした莫大な予算投入など、オバマ米大統領によるコミュニティ・カレッジへの支援策は評価しており、こうした政策運営が産業界を動かし、特に健康科学、自動車、製造業のような労働力強化が求められる分野における企業とのパートナーシップが強化されたという。他方、高等教育機関のランキングにつながるようなオバマ米大統領の声明には強い抵抗を示している。コミュニティ・カレッジのミッションは、学生の雇用され得る能力(employability)を高めることと、地域のニーズに応えることにあり、AACCCとしては異なる経済状況や地域のニーズを単一の指標で測ることには賛同していない。

## 2-5. AACCC 2013-2016 Strategic Plan

AACCCは「米国コミュニティ・カレッジを前進させるリーダーの国を構築するために」というタイトルの下、2013年から2016年の戦略プラン<sup>10</sup>を策定している。この戦略プランでは、AACCCの将来ビジョンとして、全ての人々がそれぞれのコミュニティ及び経済に生産的に参画できるよう学ぶ機会を提供する国づくりを目指し、4つの目標が掲げられている。

目標1：AACCCメンバーの価値を向上させる。

目標2：コミュニティ・カレッジに対する資源提供を最大限に高める。

<sup>9</sup> <http://vfa.aacc.nche.edu/Pages/default.aspx>

<sup>10</sup> AACCC 2013-2016 Strategic Plan

[http://www.aacc.nche.edu/About/Pages/2013-2016\\_StrategicPlan.aspx](http://www.aacc.nche.edu/About/Pages/2013-2016_StrategicPlan.aspx)

目標 3：コミュニティ・カレッジに関する傑出した情報源として AACCC の地位を確立する。

目標 4：コミュニティ・カレッジの未来の成功を確実なものとするために、リーダーとしての専門性を明確にし、リーダーシップの資質能力を育成する。

さらに、この戦略プランの展開を主導する具体的なサイクルとして、AACCC 21<sup>st</sup>-Century Initiative<sup>11</sup> という構想を提示している。構想の目標は、2020 年までに更に 500 万人以上の学位、修了証あるいはその他の資格の取得者を増やすというもので、コミュニティ・カレッジに関する多方面からの聞き取りにはじまり、コミッションにおける検討、アクションプランの策定と実施というサイクルが示されている。

その中でも、21<sup>st</sup>-Century Commission が 2012 年に公表した 'Reclaiming the American Dream' では、21 世紀のコミュニティ・カレッジが取り組むべき課題が明確化されている。さらに AACCC は、当該報告書で提示されたコミッションによる 7 つの提言の概要を記したカード（下記参照）を作成し、意識化・共有化に努めている。

The 21<sup>st</sup>-Century Commission on the Future of Community Colleges からの提言<sup>12</sup>

#### ■ Redesign Students' Educational Experiences

学生の教育経験の再編

< 提言 >

1. 2020 年までにコミュニティ・カレッジの資格（修了証及び準学士号）修了率を 50% に引きあげる。  
入学のしやすさはそのままに質を高め、収入、人種、民族及び性別による学力格差を根絶する。
2. 劇的にカレッジの準備体制を改善する。  
カレッジに入学する学生のうち、厳しいカレッジレベルの学習への準備が不足する学生の数を 2020 年までに半分に減らし、補習教育 (Developmental Education) プログラムを修了し、関連する 1 年次レベルのコース修了へと進む学生の割合を 2 倍にする。
3. アメリカ人の技術面でのギャップを埋めるために、キャリア・技術系教育を実施するに当たって、地域経済及びグローバル経済の中で現在及び将来の仕事に必要な

<sup>11</sup> 21<sup>st</sup>-Century Initiative

[http://www.aacc.nche.edu/AboutCC/21st\\_century/Pages/default.aspx](http://www.aacc.nche.edu/AboutCC/21st_century/Pages/default.aspx)

<sup>12</sup> 以下のプレス・リリースでも 7 つの提言が確認できる。

[http://www.aacc.nche.edu/AboutCC/21st\\_century/Documents/AACC\\_Report\\_Press\\_Release.pdf](http://www.aacc.nche.edu/AboutCC/21st_century/Documents/AACC_Report_Press_Release.pdf)

な知識とスキルを学生に備えさせることを明確な焦点とする。

#### ■ Reinvent Institutional Roles

機関の役割の再考

<提言>

4. コミュニティ・カレッジの使命に再度焦点を当て、21世紀の教育と雇用のニーズに合わせた機関の役割を明確化する。
5. 慈善事業のパートナー、政府、民間部門とともに、機関間の協働を通して多様なコミュニティ・カレッジに貢献している支援組織へ投資する。

#### ■ Reset the System

システムのリセット

<提言>

6. 教育機関及びその学生への新しい刺激策を創造し、コミュニティ・カレッジによるアメリカンドリーム再生の努力を支援するために、公共及び民間の投資を戦略的に活用する。
7. コミュニティ・カレッジにおける厳格性、透明性及び結果に対する説明責任を推進するための施策等を実行に移す。

### 3. 米国西地区学校・大学基準協会／二年制高等教育認定委員会（Western Association of Schools and Colleges / Accrediting Commission for Community and Junior Colleges, WASC / ACCJC）

WASC は公立及び私立の学校、二年制大学及び四年制大学の認証を行う、米国の6つの地区基準協会（アクレディテーション機関）の1つである。WASC が担当する西地区はカリフォルニア州、ハワイ州を主な地域とするほか、グアムや海外領土の太平洋の島々も含む地区となっている。

ACCJC は WASC のアクレディテーションを運営する3つの委員会の1つであり、コミュニティ・カレッジに加え、2年間のプログラムを提供し、準学士（associate degree）を授与するその他の機関に対して評価・認定を行っている。なお、本協会がかねてより評価の国際通用性を担保すべく ACCJC/WASC との連携を図ってきたところだが、その連携をより深め充実させるため平成25年3月に連携協定を締結している。

今回の調査研究において、同団体による評価チームのトレーニング（Team training）を見学する機会に恵まれた。時間の都合上、直接聞き取りは行えなかったものの、事前に

送付した質問事項には文書で回答していただいた。

【回答者】

Norval Wellsfry, Ed.D., Associate Vice President

### 3-1. ACCJC と米国教育省（U.S. Department of Education, USDE）の関係

#### 役割・機能の違い

ACCJC の第一の役割は会員カレッジの質の保証と改善にある。その遂行に当たって、質保証のためのミニマム・スタンダードを構築するとともに、当該基準の下、ア Kredィテーションのプロセスにおいて質を測定している。このプロセスによって、基準の遵守と同様、会員カレッジが基準を上回る優れた機関となるため継続的に求められる、質の向上・改善が確保される。

他方、高等教育における連邦政府の第一の役割は高等教育法（Higher Education Act, HEA）<sup>13</sup> によって表明されている。この法律は、カレッジと連邦奨学金制度を結ぶ重要なパイプ役を果たす一方、ア Kredィテーションに係る認定要件等を通じてカレッジの質に対する影響力を有している。なお、ACCJC は定期的に USDE によるレビューを受けているが、本調査研究中にちょうどこのプロセスを成功裏に終えたところであった。連邦政府から ACCJC への財政支援はなく、連邦政府からの資金が ACCJC を通じて提供されることもない。その他の資金が研究費及び助成金という形で連邦政府からカレッジへ与えられることもあるが、一般的にみて、その資金がカレッジ予算の大きな部分を占めることはない。

ACCJC は、USDE 内の Accreditation Division（Office of Postsecondary Education の 1 部門）、及び教育長官の外部諮問委員会である National Advisory Committee on Institutional Quality and Integrity（NACIQI）との係わりはあるが、それ以外の連邦政府機関との間に直接の関係はないという。

#### 間接的な統括・管理

連邦政府には、ACCJC に対する直接の統括機能はない。ただし、間接的な統括・管理（indirect control）という意味でいえば、ACCJC にとって重要な連邦政府の法律が存在する。それは ACCJC における「認知」プロセス、つまり HEA に基づき ACCJC がどのように認識するかというプロセスにかかわっている。USDE の Accreditation Division も NACIQI も、ともにこの間接的機能に関係している。USDE は、HEA に基づく規制を強

---

<sup>13</sup> 高等教育法（HEA）は、連邦政府の高等教育に対する役割を明確に定義した法律として 1965 年に制定された。最も重要な役割として、連邦奨学金制度や教員養成に対する援助等が規定されている。また、同法は 2008 年 8 月高等教育機会法として改定されている。

化することによって、ACCJC に対する統括力を行使する。ACCJC が定める方針の多くは、HEA に基づく規制の結果である。しかしながら、この機能は先に述べたとおり、認知プロセスに基づく間接的なものにとどまる。

また、連邦政府の場合と同様、州政府がアクレディテーション機関を直接統括することもない。それは、地区アクレディテーション機関であっても、全国アクレディテーション機関（主に専門分野別教育プログラムを対象とする）であっても同じである。例えば、カリフォルニアの公立コミュニティ・カレッジは ACCJC によるアクレディテーションの受審が求められているとはいえ、そのことをもってカリフォルニア州がアクレディテーションに直接影響を与える権限を有しているわけではない。

### 3-2. ACCJC と全米教育関係団体の関係

#### 役割・機能の違い

ACCJC と全米教育関係団体（AACC・ACE など）の両者の関係において、役割・機能の点で重なることはほとんどない。AACC や ACE は全米のメンバーシップに基づく組織であり、連邦政府レベルでのロビー活動と、会員校に対する様々なサービスの提供が主な役割である。一方、ACCJC は米国における 6 つの地区基準協会（アクレディテーション機関）の 1 つであり、そのため全国レベルでの役割・機能は備わっていない。なお、アクレディテーションに影響力のある連邦政府の法律の進展を監視するに当たって、ACE とは協力関係にあるというが、AACC・ACE による直接的・間接的な統括機能は存在しない。

### 3-3. アクレディテーションとコミュニティ・カレッジ

#### アクレディテーションに関する全米レベルでの教育アジェンダ

アクレディテーションについては全米レベルで度々論じられている。議論の内容はもっぱら、透明性、説明責任及び学費の適正化 (transparency, accountability and affordability) に集中している。HEA については近年、1～2 年後の改定を視野に議論が行われており、その改定はアクレディテーションに対して大きな影響を及ぼすと考えられる。州政府及び連邦政府をはじめ、公的機関、雇用者、資金提供団体等は皆、それぞれ優先順位は異なるとはいえ、高等教育における質と学費の適正化に対して強い関心を持っており、大統領、議会のみならず、アクレディテーション機関及びカレッジも含め、アクレディテーションによって影響を受ける多くの関係機関を巻き込む議論となっている。

#### 「コミュニティ・カレッジ」の定義

「何をもってコミュニティ・カレッジとするか」という共通の定義はない。ただし米国では一般に、準学士号 (Associate of Science, Associate of Arts, and/or Associate of Applied Science) 及び修了証 (Certificate) を授与する 2 年制カレッジをコミュニティ・カレッジと呼んでいる。コミュニティ・カレッジは主に、キャリア・技術系プログラム (職

業・労働力教育)、及び学士号取得を目指して 4 年制カレッジへ編入学を希望する学生のための編入学・一般教育プログラムを提供している。

編入学・一般教育プログラムのみを提供するカレッジはしばしばジュニア・カレッジと呼ばれるが、この定義が一様に適用されるわけではない(例えば、カリフォルニア州のサンタローザ・ジュニア・カレッジはコミュニティ・カレッジであり、カリフォルニア・コミュニティ・カレッジシステムに属している)。

### コミュニティ・カレッジのミッション及びコミュニティとの関係

一般的にあって、コミュニティ・カレッジのコア・ミッションはキャリア・技術系教育及び編入学・一般教育を提供することである。また、このミッションには、カレッジレベルの学習に達していない学生への補習教育及び準備教育も含まれている。多くの場合、カレッジは様々なレベルのコミュニティ・成人教育プログラムを設け、コミュニティの利害関心に基づく継続教育の機会を提供している。

コミュニティ・カレッジは、設置されているコミュニティの一部として自らを認識し、そのミッションにおいて、自らが貢献するコミュニティについて明確に定義している。こうして定義されるコミュニティとの関係は、コミュニティとの同意に基づくものであり、この点からも、コミュニティとの緊密な関係がカレッジの基礎を形作っていることがうかがえる。

### 公立カレッジと私立カレッジの違い

ア krediteーションにおいては、私立カレッジ、公立カレッジともに同じ適合要件及び基準(Eligibility Requirements and Standards)によって評価されている。評価に当たって、各カレッジの独自のミッションを考慮する必要性はあるものの、同じ基準が適用されている。

ACCJC の担当地区には 7 つの私立カレッジがあり、なかには私立の営利機関もある。営利機関であっても、当該機関が望めばコミュニティ・カレッジを名乗ることができる。また、コミュニティ・カレッジという言葉は、一般に公立機関に対して用いられているとはいえ、公立機関に限定されるものではないという。なお、私立機関は概して「カレッジ」(例えば Carrington College のように)と称している。

### コミュニティとの連携に対する評価

ACCJC では、コミュニティとの連携に関する評価は特に行っていない。それらはア krediteーションのための基準を構成するものではなく、それゆえ評価のための水準は特に設定してない。この点に関しては、上述の「コミュニティ・カレッジのミッション」においてみたとおり、米国のコミュニティ・カレッジとコミュニティの関係は、カレッジによる活動の一要素ではなくその根幹を成すものであることに由来すると考えられる。

また、特定のプログラムに対する評価という関連からいえば、ACCJC のア krediteーションは機関別評価であり、機関全体という幅広いコンテキストで評価を実施するため、

個別のプログラムを評価する場合でも機関全体の質に与える影響・効果という観点から行われている。

### 米国コミュニティ・カレッジのチャレンジ

米国のコミュニティ・カレッジの強みについて、Wellsfry氏は、私見としながらも「質の高い中等後教育へのアクセスを全国で展開している」点をあげている。コミュニティ・カレッジにおける中等後教育が全国で提供されることによって、雇用者に対しては労働人口の質と量を強化し、米国における労働者の教育及びそのスキルレベルを大いに高めてきた。これは経済の面からみても、効率の面からみても効果的であった。

ただし、米国のコミュニティ・カレッジは、米国高等教育において最も経済的な学費を設定する最大の機関である一方、コミュニティ・カレッジに対する財政支援は中等後教育機関の中で最も少なく、例えば、コミュニティ・カレッジにおける学生一人当たりの予算をみても4年制高等教育機関のそれに比べてかなり少ないという。

現在、全国レベルの議論は高等教育へのアクセスから（アクセスを伴う）学生の成功に関するものに移行している。成果（outcomes）の強調というこの移行は、最も多くの学生に対して高等教育へのアクセスと「手の届く」学費を保証してきたコミュニティ・カレッジにとって、非常に重要な意味を持つ。

オープンアクセスをミッションに掲げるコミュニティ・カレッジは、従来、カレッジレベルの学習準備が不足する学生への支援を積極的に提供してきたが、ここ数年、学生のアカデミックな能力の低下によって、益々補習教育及び準備教育の必要性が高まっているという。コミュニティ・カレッジは自らのミッションに従いオープンアクセスを実行しつつ、その一方で、限られた資源配分の中で成果を求める近年の状況に答えなければならない。コミュニティ・カレッジにとって、ミッションと社会的要求をどのように両立させるかは、現在直面する大きなチャレンジの1つとなっている。

## 4. コミュニティ・カレッジ

### 4-1. Northern Virginia Community College

#### 【聞き取り調査対象者】

Paul J. McVeigh, Ph.D., Associate Vice President

Charlotte M. Calobrisi, Dean, Division of Language and Literature

#### 【当該カレッジの概況】

- バージニア州最大の高等教育機関であり、コミュニティ・カレッジとしては合衆国内で 2 番目の規模である。首都ワシントン D.C.から車で 10 分程のアレクサンドリアキャンパスをはじめ 6 つのキャンパスを有する。Virginia Community College System に属している。
- 設立は 1964 年。学生数は約 75,000 人、教職員数は約 2,600 人。
- 文系及び理系準学士号取得プログラム、職業教育プログラムのほか、医療分野のプログラムも提供している。通学とオンラインとを併用する科目や、金曜の夜間、土曜・日曜に開講するプログラムもある。
- 各キャンパスに編入カウンセラーを置くなど 4 年制高等教育機関への編入支援に力を入れている。
- Southern Association of Colleges and Schools (SACS) によるアクレディテーションが 2012 年に実施され、認証されている。なお、医療分野は別の複数団体によるアクレディテーションを受けている。
  
- 在籍者数：全体 78,635 人 (2012-13)
  - 男女比：男性 48.3%、女性 51.7%。(Fall 2012)
  - フルタイム 37.0%、パートタイム 63.0%。(Fall 2012)
- 年齢構成：18～21 歳がもっとも多く、40.1% (Fall 2012)
- 卒業生数：全体 6,926 人 (実数) (2011-12)
  - 内訳 (人)
  - Associate of Arts Degree : 609 / Associate of Science Degree : 3,735 / Associate of Applied Arts Degree : 33 / Associate of Applied Science Degree : 1,035 / **Certificate** : 1,951 / **Career Studies Certificate** : 490 = 7,853 (延べ人数：重複あり)。
- 学位取得率：Fall 2009 cohort 26.0%。(2012)

#### <参考>

- Northern Virginia Community College 公式ウェブサイト  
<https://www.nvcc.edu/index.html>
- Northern Virginia Community College, FACT BOOK 2008-2009 through

2012-2013

<http://www.nvcc.edu/about-nova/directories--offices/administrative-offices/oir/fact-books/docs/Fact-book.pdf>

- Northern Virginia Community College, VIEWBOOK (2011)  
<http://www.nvcc.edu/resources/viewbook/>

#### 4-1-1. ミッション : Mission

バージニア州の高等教育機関において最大の学生数を有するノーザン・バージニア・コミュニティ・カレッジ（以下、NOVA）は、「アクセス、機会提供、学生の成功及び卓越性の価値を重視しつつ、世界に通用する中等後教育、学習及び労働力開発を対面及びオンラインによって提供し、当該カレッジの地区及びバージニア州の教育水準を高め、世界的に競争力のある労働力を保証する」ことをミッションとして掲げている。

コミュニティ・カレッジはオープンドア・カレッジとして、高等学校卒業者もしくは18歳以上の市民であれば誰でも教育を受けることができるアドミッション・ポリシー（Open Door Admission Policy）を原則としており、NOVAのミッションにおいてもその理念が明示されている。また、学生数の多さはNOVAの特徴の1つであるが、近年は編入学など、学生の成功（students success）においても大きな成果をあげている。

#### 4-1-2. 学位と修了証 : Degree and Certificate

NOVAは150の教育プログラムを有し、2年間の準学士号取得プログラムのほか、多様なキャリア・技術系の修了証（certificate）取得プログラムを提供している。取得学位及び修了証<sup>14</sup>は以下のとおりである。

##### Degrees Designed to Prepare Students for Transfer

Associate of Arts Degree (A.A.) – designed to transfer to a four-year, degree-granting institution for the completion of a Bachelor of Arts (B.A.) degree.

Associate of Science Degree (A.S.) – designed to transfer to a four-year, degree granting institution for the completion of a Bachelor of Science (B.S.) degree.

##### Degrees and Certificates Designed to Prepare Students for Work

Associate of Applied Arts Degree (A.A.A.)

Associate of Applied Science Degree (A.A.S.)

Certificate (C.)

---

<sup>14</sup> 各コース概要は <http://www.nvcc.edu/catalog/cat2013/academics/descriptions/> 参照。

## Career Studies Certificate (C.S.C.)

準学士号取得プログラムでは、編入学を目的として一般教養科目を中心に学び、文系準学士号 (Associate of Arts : A.A.) 又は理系準学士号 (Associate of Science : A.S.) を取得することができる。職業訓練としての修了証取得プログラムは 2 年未満で取得可能<sup>15</sup> であり、キャリア系の修了証 (career study certificate) 取得プログラムでは 6 か月のプログラムも設けられている。

150 もの教育プログラムを提供するに当たって、時間割上必ずしも学生が希望する授業が履修できないという問題に対しては、近年オンラインによる授業が有効に機能している。また、オンラインによる授業ではコースの修了率が低くなる傾向があるため、コンピュータを活用した教員とのコミュニケーションの機会提供も重要である。

### 4-1-3. 編入学・単位互換制度 : Transfer Agreement

NOVA は編入学・単位互換制度として、多くの 4 年制高等教育機関と 2 種類の編入学に関する協定 (transfer agreement)<sup>16</sup> を結んでいる。1 つは編入学における単位互換に関する協定 (articulation agreement) であり、NOVA で履修した単位を受け手機関 (receiving institution) の単位として認定するための取り決めである。

もう一つは編入学を更に確実なものとする、Guaranteed Admission Agreement と呼ばれる協定で、受け手機関による単位認定要件を満たせば編入学が保証されるというものである。従来、職業訓練教育を中核としていた NOVA は、近年この協定を充実させることによって編入学に重点を置くカレッジになったという。これらは、「NOVA における 2 年間」プラス「編入学先の機関における 2 年間」で学士号取得を可能にする制度であり、「2 年間 + 2 年間」以上の修学が必要となるケースがあるとはいえ、4 年制高等教育機関の学費に比べてかなり安いコミュニティ・カレッジでの 2 年間は学生にとって大きな負担軽減となっている。

なお、聞き取りでは、定着率 (retention) の低さの主な原因として、学業と家庭あるいは仕事との両立が困難な場合や経済状況があげられていたが、同じく定着率に関する問題として言及があったのは、'swirl' (旋回) と呼ばれる、機関のタイプに関係なく転学を繰り返す学生の増加である。これは、上述の原因に加え、間接的にはコミュニティ・カレッジにおける移動の柔軟性も関係しているようである<sup>17</sup>。ただし、学生が卒業を待たずに編

---

<sup>15</sup> 応用文系準学士号 (A.A.A.) 及び応用科学系準学士号 (A.A.S.) は 2 年間のプログラム。

<sup>16</sup> 協定先の高等教育機関は以下を参照。

<http://www.nvcc.edu/current-students/transfer/agreements/index.html>

<sup>17</sup> 同時に複数の機関に在籍するケースもあるという。林未央「アメリカ高等教育におけるアーティキュレーション・システムの標準化—体系性・連続性と弾力性の両立問題—」『学位研究』第 18 号、大学評価・学位授与機構 2004 年 3 月、110-111 頁。

入学するケースもあり、コミュニティ・カレッジからみれば、定着率の低さは学士号取得等の学生の目標に応じたキャリアパスによるものと解釈できる側面もある。

#### 4-1-4. 高等学校との接続：Connection with High School

##### 二重登録 (Dual Enrollment)

バージニア州立の高等学校とコミュニティ・カレッジの間で結ばれた協定<sup>18</sup>の下、地域機関間のパートナーシップを通して二重登録プログラムという生徒の進路支援が行われている。プログラムでは、高校3年生ないし4年生（同等の自宅教育も含む）が高校に在籍しながらコミュニティ・カレッジレベルの授業を受けることができ、かつそれらがカレッジの単位としても高校卒業資格としても認定される仕組みになっており、高校生の入学準備教育としても効果をあげている。

授業は高校あるいはNOVAのキャンパスで実施されており、高校教員が担当する場合も、授業はカレッジレベルの有資格者によってNOVAのカリキュラムに基づき行われ、教育の質保証にも対応している。また、本来2つの機関（高校とカレッジ）がそれぞれ行う単位認定を一つに集約（高校のキャンパス活用と高校教員の参画）することによって費用面での軽減につながっている。

##### 特別プログラム (Pathway Connection)

このプログラムは、学士号取得プログラム (Pathway to the Baccalaureate program) と対を成す「カレッジ／キャリア準備教育の試験的プログラム」(a pilot college/career readiness program) として設けられ、2005年に開始された。地域の高校2年生及び3年生から選ばれた生徒に対して、高校在学中の就学からカレッジ入学へ、さらにカレッジ卒業・就職あるいは4年制高等教育機関<sup>19</sup>への編入学に至るまで一貫した個別支援を行っている。対象となるのは、経済状況や家庭環境に恵まれず、特別な支援がなければ高等教育機関へ進学することが困難な生徒たちである。さらにこのプログラムには、生徒たちを高等教育に導くだけでなく、生徒たちの修学が円滑に進むよう家族に対してもカレッジ入学に必要な手続きや教育内容、得られる経済支援の説明等、手厚い支援も含まれている。

プログラムは、10年近く前、NOVAの入学率が伸び悩んでいた時期に、その改善策として学長によって発案された。発案の背景には、入学率の低さはNOVA自身が地域住民の教育水準の向上という社会的責任を果たしていない結果だという認識があったという。高等

---

<sup>18</sup> 「バージニア州立学校とコミュニティ・カレッジ間の二重登録のためのバージニアプラン」(Virginia Plan for Dual Enrollment Between Virginia Public Schools and Community Colleges)。

[http://www.doe.virginia.gov/instruction/graduation/early\\_college\\_scholars/](http://www.doe.virginia.gov/instruction/graduation/early_college_scholars/)

<sup>19</sup> 主な編入学先は、NOVAが密接な連携を図っているGeorge Mason University。

<http://www.nvcc.edu/current-students/Transfer/gmutransfer/index.html>

教育への機会提供だけでなく、高等教育へのアクセスを地域の文化として根付かせ、教育水準を向上させるというミッションが具体的なプログラムとして結実した一例である。現在、このプログラムに参加している地域の高校は 50 校を越え、これまで延べ 8,000 人の生徒がプログラムを受けている。また、カレッジでの定着率も非常に高く、一貫した個別指導・支援が十分に機能していることがうかがえる。

さらに、カレッジ定着率の向上は、プログラムが同時に入学後の補習教育（remedial education）としても機能していることを示唆している。コミュニティ・カレッジはオープンアクセスの方針のため補習教育の需要は高く、実際 NOVA においても多くの補習教育が行われ、主に数学、英語及び ESL（English as a Second Language）に関するプログラムが提供されている。

聞き取りを行った McVeigh 氏によると、NOVA のオープンアクセスを支える教育方針がこうしたプログラムや手厚い補習教育に反映されているという。McVeigh 氏の非常に印象的な言葉を借りれば、「4 年制高等教育機関には『誰が入ってくるのか』は重要かもしれないが、コミュニティ・カレッジにとって大切なのは『誰が出ていくのか』」であり、特別プログラム等は、経済状況や家庭環境が理由で高等教育へアクセスできない人々を受け入れ、地域社会に貢献できる人材として育成するという明確な教育方針を具現化している。

#### 4-1-5. FD・SD 活動：Faculty and Staff Development

NOVA は以下の 2 つのセンターを設置し、ワークショップの開催を含め、様々な教職員による FD・SD 活動の支援を行っている。

##### (1) Center for Excellence in Teaching and Learning (CETL)

CETL は教職員による教育及び学習サービスの改善・向上の支援を目的とし、教員に対しては教授法やクラスルーム・マネージメントの指導・助言等を行っている。

##### (2) Faculty and Staff Resource Center

このセンターは授業における教材、プレゼンテーション、オンラインコース、通学・オンラインなどの組み合わせによるハイブリッドコース及びウェブサイトに関して教職員の質の改善・向上を支援している。

FD 活動の中心にあるのは教育改善である。教員は一方で学会参加等により専攻分野やその専門性について研鑽を積みつつも、NOVA が提供する支援はとりわけ教育及び学生の学習向上に向けられている。コミュニティ・カレッジの教員に求められるのは第一に教育者としての向上であり、この点においても NOVA の教育機関としてのビジョンが明確に表れている。

また FD 活動の一環として、教員自身による自己評価が行われている。自己評価は毎年実施される各教員に対する評価の一部であり、教員は自ら設定した目標をどの程度達成し

たかを自己評価し、改善に役立てる。評価の目的は批判ではなく、教員の教育力の改善・充実を後押しし、学会参加のための費用も含め向上のための資源を提供することにある。

教員評価はさらにプログラム査定の PDCA サイクルに組み込まれ、機関における教育の効果を測る指標の 1 つとして位置付けられる。自己点検・評価は、PDCA サイクルのループを一端閉じ、カレッジ自身の計画が学生の学習成果の達成をいかに導いているかを検証する機会であり、聞き取りにおいては、検証の結果を改善に生かし、点検・評価のサイクルを開かれたループとして再機能させることの重要性が強調されていた。

#### 4-1-6. 労働力開発（継続教育）： Workforce Development (Continuing Education)

NOVA は Workforce Development Division において、ニーズに応じてカスタマイズされたトレーニングや柔軟なプログラムを提供しており、オンラインによる授業に加え、場合によっては企業へ出向く形の授業やトレーニングを設けている<sup>20</sup>。この教育プログラムには編入学用の単位修得コースはないが、コースの修了証は取得可能であり、現役労働者に対する継続教育としても機能している。継続教育は、現役労働者が労働市場の急速な変化に対応して自らの技術的スキルや知識を向上させる場として、コミュニティ・カレッジに期待される重要な役割の 1 つである。

#### 4-1-7. コミュニティのニーズ： Community Needs

上述の 4-1-2 から 4-1-6 までの取り組みを支える活動として、コミュニティのニーズ調査が行われている。ニーズ調査は、まず、地域全体の経済アセスメントに始まり、それらの分析に基づく 5 年から 10 年程度の経済見通しの下、コンサルタントの協力を得て戦略的計画が立てられる。例えば、IT ビジネス分野の需要拡大に対しては、政府機関や商工会議所など、その分野に関係する多くの専門団体から知見を得て、カレッジとしての対応を検討したとのことである。ただし、こうしたニーズの変化への対応には迅速さが求められるが、多くの場合、財源不足などの理由からなかなか実現できないなど、実施面での課題についての言及もあった。

経済に関するニーズ調査のほか、NOVA はコミュニティのメンバーを構成員とする諮問委員会（advisory committee）を設置している。当該委員会の目的は、地域の企業人などの助言・支援により、教育プログラムが労働市場の需要に応じたものになっているか、提供する職業資格等が需要に合ったものなのかなどを見直し、改善することにある。例えば、写真科コースは、かつてはフィルムを使用するのが当たり前だったが、当該委員会の進言でフィルムからデジタル方式の使用への転換を図ったという。教育プログラムの質保証とともに、その有効性についても絶えず検証し、必要があれば変更するという PDCA サイク

---

<sup>20</sup> 2014 年春コース一覧及びスケジュール

<https://www.nvcc.edu/businesses-and-community/workforce-development/schedule-spring/index.html>

ルがこうした形でも機能している。なお、NOVA の立地はワシントン D.C.に近いことから、政府機関が多い反面、特徴的な産業がないため、製造業が盛んな地域等におけるニーズ把握とは異なるだろうとのことであったが、ニーズへのアプローチの違いも、それぞれの地域とともにあるコミュニティ・カレッジの特徴の 1 つだろう。

## 4-2. Diablo Valley College

### 【聞き取り調査対象者】

Peter Garcia, President

Rachel Westlake, Interim Vice President of Instruction

Ted Wieden, Professor of Geography/Meteorology

Newin Paul C. Orante, Ed.D., Vice President of Student Services

### 【当該カレッジの概況】

- カリフォルニア州サンフランシスコ郊外のダイアブロ山麓に位置し、Contra Costa Community College District に属する。山の北西プレザントヒルにメインキャンパス、南側にサンラモンキャンパスがある。
- 設立は 1949 年。学生数は約 2 万人。
- 4 年制高等教育機関への編入学プログラムを含めた文系及び理系の準学士号プログラム及びキャリア・技術系の修了証取得プログラムをそれぞれ 40 以上提供している。4 年制高等教育機関への編入率も高い。講義の時間割は日中だけでなく夜 9 時台まで組まれており、通学とオンラインを併用して開講している科目もある。
- アクレディテーションについては、2014 年 10 月予定の Accrediting Commission for Community and Junior Colleges (ACCJC) の訪問調査に向けて自己点検・評価報告書を作成中とのことであった。
  
- 在籍者数：全体 29,311 人 (2011-2012)
  - 男女比：男性 47.0%、女性 51.5%、不明 1.5% (2011-2012)
  - フルタイム 14,860 人 (2011-2012)
- 年齢構成：20～24 歳がもっとも多く、35.4% (2011-2012)
- 卒業生数：全体 2,309 人 (2012-13)
  - 内訳 (人)
  - Associate in Arts for Transfer (AA-T) : 169 / Associate in Science for Transfer (AS-T) : 59 / AA : 389 / AS : 470 / Certificate : 1,222
- 学位取得率：64.1% (2006-07 cohort by 2011-12)

<参考>

- Diablo Valley College 公式ウェブサイト  
<http://www.dvc.edu/>
- Diablo Valley College, DIABLO VALLEY COLLEGE CATALOG 2013-2014  
<http://www.dvc.edu/org/info/catalog/pdfs/catalog1314.pdf>

#### 4-2-1. ミッション : Mission

サンフランシスコ・ベイエリアに位置する Diablo Valley College (以下、DVC) は、カリフォルニア大学 (University of California, UC) バークレー校をはじめ、カリフォルニア州の4年制高等教育機関への編入学において実績がある。DVC が掲げるミッションは、オープンアドミッションの方針の下、「多様な学生集団の知的・科学的・芸術的、心理的及び倫理的成長・育成を通して、情熱を持って学生の学習向上に取り組む」ことである。4年制高等教育機関への編入学、キャリア・技術系教育、カレッジ準備教育及び基本的な技能習得及び生涯教育といった、DVC が提供する全ての教育プログラム及びそのカリキュラムは、カレッジ・ミッションを裏打ちするものとして設定されている。

#### 4-2-2. 学位と修了証 : Degree and Certificate

DVC は 2 年間の準学士号取得プログラムをはじめ、多様な専攻・分野の修了証取得 (Certificates of Accomplishment and Achievement) プログラムを提供している。取得できる準学士号は Associate in Arts for Transfer (AA-T)、Associate in Science for Transfer (AS-T)、Associate in Arts (AA)、Associate in Science (AS) である<sup>21</sup>。ちなみに、2012～2013 年の実績は、準学士号及び修了証取得者数は全体で 2,309 人、うち AS-T 取得は 59 人、AA-T 取得 169 人、AS 取得 470 人、AA 取得 389 人であった。

提供する学位・修了証の種類及びその改廃については、次の点を踏まえて決定がなされている。

- 編入学モデルのカリキュラム<sup>22</sup>
- コミュニティ及び学生による要望
- 教員の専門性

---

<sup>21</sup> 準学士号取得申請書及び修了証取得申請書は資料編「Ⅱ.参考資料」(2)、(3)を参照。多岐にわたる修了証も申請書に記載された一覧で確認できる。

<sup>22</sup> California Community Colleges Chancellor's Office の Academic Affairs Division が提供するカリキュラムモデル。この Division はコミュニティ・カレッジのカリキュラムに関する州レベルのレビュー及び教育支援活動等を行っている。

<http://extranet.cccco.edu/Divisions/AcademicAffairs/CurriculumandInstructionUnit/TransferModelCurriculum.aspx> (2014年3月1日確認)

- 労働力市場の需要の変化
- プログラム・レビューの結果

プログラム・レビューは教育・学生サービス・アドミニストレーターの各ユニットが 2 年に 1 回、実施している。全てのプログラム・レビューは、多方面から選出された人によって構成されたピアグループによる認証を受け、認証されたプログラムは資源配分のため Integration Council に提出される。Integration Council は、プログラム・レビュー報告書及び機関全体の計画を基に必要な資源を特定し、Budget Committee に対して資源配分に関する優先順位の提言を行う委員会で、効果的なガバナンスのためカレッジ全体の対話を促すとともに新たなニーズを開発する役割を担っている。

また、DVC では、新たな単位認定プログラムを設定するに当たって、教員は所定の様式に基づき申請しなくてはならないという。この申請によって、教員は新たなプログラムがカレッジ・ミッションを反映したものとなっていることを示し、また、新たなコース設定については新プログラムの申請内容に基づき行うことになっている（これら 2 つの申請書については資料編「II.参考資料」(4) 及び (5) を参照)。こうした手続きは、ミッションと個々のプログラム・コースとの関係性を明確化にし、さらにそれらを通してミッションを実現するための具体的な学習成果の設定が可能となる取り組みとして機能している。

#### 4-2-3. 単位互換・編入学制度：Articulation and Transfer Agreement

DVC は学士号課程を提供する 4 年制高等教育機関との間で単位互換に関する協定 (articulation agreement) を結んでおり、協定では一般教育、専攻及び卒業要件に関する認定要件が定められている。DVC は、UC (10 キャンパス) 及びカリフォルニア州立大学 (California State University, CSU) (23 キャンパス) の全キャンパスのほか、カリフォルニア州内外の 4 年制高等教育機関等、多くの機関と協定を結んでいる<sup>23</sup>。

さらに、各機関との単位認定に係る協定を基に確実な編入学を実現する、編入学保証プログラム (Transfer Admission Guarantee Program) があり、US の 5 キャンパス (デービス・アーバイン・マーセド・サンタバーバラ及びサンタクルーズ) との間で実施されている。一般教育に関する UC 及び CSU への単位互換プロセスは 1 年サイクルで行われるのに対し、専攻に関する各キャンパスとの単位互換は必要に応じて何度でも実施されているとのことである。

また、DVC は、学生が異なる教育機関で同時に複数の科目を履修することができる、同時履修プログラム (concurrent registration program) を CSU イーストベイ校との提携

<sup>23</sup> 協定先は以下を参照。

<http://dvc.edu/org/departments/counseling/articulation/studentUC.htm>  
<http://dvc.edu/org/departments/counseling/articulation/studentCSU.htm>  
<http://dvc.edu/org/departments/counseling/articulation/studentindependent.htm>  
<http://dvc.edu/org/departments/counseling/articulation/studentout-of-state.htm>

の下、提供している（プログラムへの参加申込書は資料編「Ⅱ.参考資料」(6)を参照）。

なお、カリフォルニア州には ASSIST<sup>24</sup> と呼ばれる、単位互換制度支援システムがある。ASSIST (Articulation System Stimulating Interinstitutional Student Transfer) は、編入学を希望する学生のためのオンライン情報システムで、送り手機関においてどのような科目の単位を修得すれば受け手機関に編入学する際に認定されるのかなどについての情報提供を目的とする<sup>25</sup>。ASSIST はカリフォルニア州の公立高等教育機関の公式リポジトリとして、カリフォルニア州における学生の編入学について最新の情報を提供しており、コミュニティ・カレッジにとっては学生が希望する教育上の目標に合うよう編入学先の情報を入手して科目選択等を計画し、アドバイスするに当たって非常に有効な支援ツールとなっている。

DVC において、単位互換制度の維持・改善の取り組みは、California Articulation Policies and Procedures Handbook<sup>26</sup> に基づき行われている。California Intersegmental Articulation Council (CIAC) によるこのハンドブックは、アーティキュレーション職員 (Articulation Officer, AO) 及び単位互換にかかわるその他の関係者を支援する目的で作成されており、カリフォルニア州の中等後教育機関に対して、単位互換の方針及び手続き等に関する包括的な情報を提供している。

#### 4-2-4. 補習教育 : Remedial Education

DVC では、英語、ESL、数学及びカウンセリング (カレッジ・オリエンテーション) に関するカレッジ準備教育 (pre-collegiate instruction) を実施しており、英語及び数学については Learning Center による支援活動も行っている。なお、Learning Center におけるカレッジ準備教育としての学生支援は、推定で年間 17 万ドルになるという。

#### 4-2-5. 高等学校との接続 : Connection with High School

DVC では、地域の高校に対する多様なサービスが実施されている。

- DVC のプログラム、サービス及び入学等に関する変更があった場合に現役高校生及び卒業生へ及ぼす影響について、カウンセラーを対象に開催する春の高校カウンセラー会議
- 秋の Principal's Breakfast

---

<sup>24</sup> <http://www.assist.org/web-assist/welcome.html>

<sup>25</sup> 山田礼子「アメリカの高等教育における単位互換と単位の認定—カリフォルニア州のアーティキュレーション・システム—」『学位研究』第 14 号、大学評価・学位授与機構 2001 年、16-17 頁。

<sup>26</sup> California Articulation Policies and Procedures Handbook – Revised Spring 2013  
[http://ciac.csusb.edu/documents/CIAC\\_Handbook\\_Spring\\_2013.pdf](http://ciac.csusb.edu/documents/CIAC_Handbook_Spring_2013.pdf)

- DVC の英語 / ESL 教員と地域の英語 / ESL 高校教員が集まる、年に 2 回のイングリッシュ・アーティキュレーション・デーの開催
- コミュニティ向けのキャンパスツアー（学生大使のガイド付き・ガイドなし）
- 新入生のための入学に関する説明会及びウェブベースのアセスメント（新入生の地域のキャンパス、あるいは DVC キャンパスでの夜間の開催）
- 地域の高校及びコミュニティ・カレッジのフェア（1 日・夜間）
- 要請あるいは状況に応じて、高校を対象とした DVC に関する情報提供の集会
- キャリア・専攻探索活動：Health Careers Fair, Engineering Summer Camp, Allied Health Day, Business Careers Day など
- キャリアパス開発を支援する助成金への参加（2013-14 年は 200 万ドル以上）

また、高校で履修した科目等をカレッジの単位として認定する単位互換制度がある。

### Career Pathways and High School Articulation

Career Pathways は Secondary Career-Technical Education (CTE) プログラムを Post-secondary CTE プログラムに接続し、高校生がカリフォルニア州の Academic Standards をクリアしつつ、より高度な中等後教育へ移行することをサポートする取り組みであり、DVC は地域の高校との間で、Career Pathways の下に設けられたアカデミック及び技術系コースの単位互換に関する協定を結んでいる<sup>27</sup>。この取り組みは高校生の中後教育機関における準備教育としても、キャリア・職業教育としても機能している（協定先の一覧及び内容は資料編「II.参考資料」(7)を参照）。

さらに、高校生に対して、連邦政府資金による以下の 2 つのプログラムが実施されている。

### Federal TRIO Programs: 'Upward Bound' and 'Educational Talent Search'

教育機会へのアクセスを援助する Federal TRIO Programs には 5 つのプログラムがあり、Upward Bound 及び Educational Talent Search はそれぞれ援助内容の異なるプログラムとして設置されている。Federal TRIO Programs の目的は、恵まれない境遇にある生徒たちを動機付け、中等教育から学士号取得後のプログラムに至るまでの教育パイプラインを提示し支援することにある<sup>28</sup>。

<sup>27</sup> この制度についてはカリフォルニア州の'Statewide Career Pathways'も参照。  
<http://www.statewidepathways.org/index.html>

<sup>28</sup> Federal TRIO Programs のサイト情報より。  
<http://www2.ed.gov/about/offices/list/ope/trio/index.html>

## Upward Bound

高校生に対するカレッジ入学前の教育プログラムとして、参加者の高校における学習支援に加え、その後の高等教育機関における目標達成のための機会提供をその目的としている<sup>29</sup>。プログラムの目標は、参加者が中等教育機関及び中等後教育機関において成功し、最終的には中等後教育機関の卒業にまで導くことにある。対象となる高校生は低所得家庭出身者及び両親のいずれも学士号を持たない家庭の出身者である。

## Educational Talent Search

高等教育において成功する可能性を持ちながら恵まれない境遇にある生徒を特定し、高校卒業から中等後教育機関卒業に至るまでの多面的な援助を行っている<sup>30</sup>。従来、中等後教育において十分考慮されていなかった層に属する参加者にはアカデミック・キャリア・経済支援等に関するカウンセリングを通して、中等後教育機関へのアクセス方法にはじまり修学を継続させるための支援がなされている。また、中等教育あるいは中等後教育レベルのプログラムが未修了の者に対する再教育としても重要な役割を果たしている。

### **4-2-6. コミュニティとの連携 : Linkage with Community**

#### コミュニティ教育プログラム (Community Education Program)

DVC のコミュニティ教育プログラムはキッズ・カレッジ、名誉カレッジ (生涯教育)、コミュニティ教育という 3 つのサブプログラムから成る。これらのプログラムは Instruction Office によって運営され、クラスのスケジュールも同オフィスによって編成・管理がなされている。また、プログラムは、州法により手数料による自己資金で運営されている。

キッズ・カレッジ及び名誉カレッジにおいて単位認定プログラムは実施されていないが、2 つのプログラムはコミュニティにおいてよく知られており、コミュニティのニーズにあったクラスを提供している。他方、コミュニティ教育の授業はアカデミック・デパートメントにより実施されているが、現在、コミュニティ教育プログラムは非常に少なく、教員が自発的に開講するクラスのみとなっている。また、このプログラムに関するコミュニティのニーズ調査のような援助も行っていない。

#### 諮問委員会 (Advisory Board)

DVC は、キャリア・技術系の修了証取得プログラムにおいて、地域の企業及び地域経済のニーズの変化に対応するため、地域の企業人を構成員とする諮問委員会を設置している。諮問委員会はプログラムがコミュニティのニーズに合っているかどうかを定期的に検討し、DVC によるプログラム改編等を支援している。

---

<sup>29</sup> <http://www2.ed.gov/programs/trioupbound/index.html>

<sup>30</sup> <http://www2.ed.gov/programs/triotalent/index.html>

このような地域の産業界との連携は、学生個々の教育上の目標達成に資するだけでなく、地域の雇用状況を的確に把握して学生の就業先を確保するとともに、地域のニーズに合った技能を備えた労働力を地域に送り出すという、カレッジ・ミッションの1つである地域貢献を体現する取り組みとなっている。

### 4-3. Laney College

#### 【聞き取り調査対象者】

Elnora Tena Webb, Ph.D., President

Peter L. Crabtree, Dean of Academic and Student Affairs/ Career and Technical Education

Mark Rauzon, Ph.D., Co-chair, Institutional Self Evaluation Steering Committee

Elizabeth Cowan, Instructor of English

Karl Seelbach, Instructor of Carpentry

Steve Thomas Weldon, Instructor of Electricity & Electronics

Forough Hashemi, Instructor of Electricity & Electronics

#### 【当該カレッジの概況】

- カリフォルニア州オークランドの中心部に位置し、Peralta Community College District に属する。1927年に前身である Central Trade School が設立され、組織・校名等の変遷を経て1970-71年、Laney College として現在の地に開校された。
- 学生数は14,000人強。
- 32の文系準学士号取得プログラム、12の理系準学士号取得プログラム、28の修了証取得プログラムを提供している。4年制高等教育機関への編入率も高い。一部オンラインのみの科目や通学とオンラインとの併用科目も設定されている。
- Accrediting Commission for Community and Junior Colleges (ACCJC) によるア krediyetasyon を2009年に受け、認証されている。次回は2015年の予定。
  
- 在籍者数：全体 21,175 人 (2011-2012)
  - 男女比：男性 41.3%、女性 50.4%、不明 8.3% (2011-2012)
  - フルタイム 7,793.3 人 (2011-2012)
- 年齢構成：25～49歳がもっとも多く、41.8% (2011-2012)
- 卒業生数 (2011-2012)：全体 821 人
  - 内訳 (人)
  - AA: 384 / AS: 95 / Certificate of Achievement (CA): 292 / Certificate of Proficiency (CP): 50
- 学位取得率：55.9% (2006-07 cohort by 2011-12)

<参考>

- Laney College 公式ウェブサイト  
<http://www.laney.edu/wp/>
- California Community Colleges Chancellor's Office  
<http://www.cccco.edu/>

#### 4-3-1. ミッション : Mission

カリフォルニア州オークランドのダウンタウンに位置する Laney College は、多様な住民層から成る都市型のコミュニティ・カレッジであり、「ダイナミックで多様な環境の下、コミュニティに責任を持つメンバー、リーダー及び世界市民となるよう育成する」ことをミッションとして掲げている。ミッションの中心は、オープンアクセス、公平性及び学生の成功である。

Laney College の目標は、コミュニティ・カレッジとして、サンフランシスコ・ベイエリアの文化的、経済的、社会的及び労働力ニーズに応えるとともに、コミュニティとの連携を強め、世界的な認識を高めることにあり、その目標の下、学生の学習を中心に据え、質の高い編入学及びキャリア・技術教育、基本的スキル及びサポート・サービスへのアクセスの機会を提供している。

Laney College のミッションを重視する姿勢は機関の Educational Master Plan<sup>31</sup>、プログラム及びサービスの優先度、カリキュラム開発に反映され、カレッジの戦略及び年間目標を設定する際の基礎となっている。教育プログラム及びサービスの改善においても、学生のアカデミックな達成を促進し、教育目標に基づく継続的な向上・充実という観点から行われている。

#### 4-3-2. 学位と修了証 : Degree and Certificate

Laney College は 32 の 文系準学士号(A.A.)取得プログラム、12 の理系準学士号(A.S.)取得プログラム及び 28 の修了証取得プログラムを提供しており、それらのプログラムは以下の 6 つの領域から構成されている。

- (1) General Education
- (2) Transfer Education
- (3) Career Technical (Occupational) Education

---

<sup>31</sup> Educational Master Plan はミッション遂行のための 3 年～5 年のロードマップ。  
2010 年版  
<http://www.laney.edu/wp/educational-master-plan/2010-educational-master-plan/>

- (4) English Curriculum
- (5) Basic Skills Education
- (6) Cooperative Work Experience Education

学位及び修了証を新設する場合は、主に、ファカルティが地域産業の需要、及びア Kredィテーションを受けている4年制高等教育機関の単位認定要件等について情報を収集し、検討した上で決定する体制をとっている。また、学位及び修了証の改廃は、Program Revitalization / discontinuance Process に従って行われ、このプロセスには改廃に関する時期、理由及び手続きなどが定められている<sup>32</sup>。

#### 4-3-3. 編入学・単位互換制度：Transfer and Articulation Agreement

Laney college においても多くの4年制高等教育機関と単位互換に関する協定を結んでおり、制度は十分機能しているという。単位互換の実施において重要な位置を占めているのは、Articulation Office (AO) である。Laney college の AO は、4年制高等教育機関のアーティキュレーション職員 (articulation officers) との連携の下、新しい単位互換に関する協定の締結や既存の単位互換協定の維持といった業務を担い、他方、4年制高等教育機関の AO の側では、関連する学問分野の教員と協働して円滑な協定の締結・維持を推進するという仕組みになっている。

Laney college の AO の具体的な業務は次のようなものである。まず、アカデミック・イヤーごとに、カリキュラムの変更に関する概要 (Summary of Curricular Changes) に当たるリストを作成し、学内及び各4年制高等教育機関に提示する。4年制高等教育機関側の AO はその情報に基づき、既存の単位互換協定の継続に当たってファカルティ・レビューが必要かどうかを検討する。加えて、新たなコースを設定する場合、Laney college の AO は各4年制高等教育機関にそれぞれ単位互換に関する提案書等を提出し、4年制高等教育機関はその提案書及びコース概要 (Course Outline of Record ,COR) <sup>33</sup>について、ファカルティ・レビューを実施して検討する。検討の結果、概要に懸念があれば4年制高等教育機関の AO から Laney college の AO にその内容が伝えられる。Laney college の側では、通知内容を検討の上、関連分野のファカルティにより概要変更が必要と判断された場

---

<sup>32</sup> 学位及び修了証の導入については Educational Program Development Process を参照。<http://www.laney.edu/wp/curriculum-committee/>

また、学位等の改廃については Draft of the Program Revitalization/discontinuance Process を参照。

<http://www.laney.edu/wp/curriculum-committee/draft-of-program-revitalizationdiscontinuance-process-document/>

<sup>33</sup> COR は、コース内容、目的、教育方法・評価方法、テキスト及び参考資料等に関する概要であり、Academic Senate for California Community Colleges (ASCCC) の以下のサイトに詳細な解説がある。

<http://www.ccccurriculum.net/course-outline-of-record/>

合、AO とファカルティが協力し変更作業を行うという。

Laney college の AO が上述の単位互換に関する提案書を提出する先は、UC 及び CSU をはじめ、ベイエリアに設置されている公立・私立高等教育機関である。また、Laney college における主な編入学先は、CSU イーストベイ校、UC バークレー校及びデービス校、San Francisco State University となっている<sup>34</sup>。

なお、正式な協定がない場合でも編入学は可能であり、その場合、編入学を希望する学生はカウンセラー及び受け手機関となる 4 年制高等教育機関と緊密に協力し、カレッジにおける履修計画（ロードマップ）が一般教育及び専攻の認定要件に適合しているかどうかについて、編入学前に確認する必要がある。

また、Laney college でも二重登録（Concurrent and Cross Enrollment）プログラムが行われており、学生には、在籍するカレッジにおいて提供されていないコースを他機関で履修し、別の環境で可能性を試す機会が提供されている。提携先は、UC バークレー校、CSU イーストベイ校、Mills College、John F. Kennedy University、Holy Names University である<sup>35</sup>。

#### 4-3-4. プログラム・レビューと改善・向上活動：Program Review and Development

Laney College 及び当該校が属する Peralta Community College District はともに、定期的なプランニングサイクル<sup>36</sup> を備えている。教学部門は毎年あるいは年に 2 回、改善・向上活動の計画を立て、学生の成功に関するデータ分析をはじめ、学習成果のアセスメント、就職あっせん等その他の成功要因の分析、4 年制高等教育機関への編入学・単位互換認定の実績査定、産業界の諮問会議からのフィードバック、及び教育サポート・テクノロジー・施設設備、教員配置等の分析を組織的に行っている。通常、プランニング改訂は 1 年おき、全体のプログラム・レビューは 3 年に 1 度実施されている。これらの活動には、教育サポート、テクノロジー、施設設備、人的配置、予算等に関連する諮問委員会（advisory committees）及びアドミニストレーターによるレビューも反映されている（諮問委員会については後段の「4-3-6. コミュニティとの連携」参照）。

機関全体の実施計画において何を優先すべきかという資源配分については、このプログラム・レビューの結果や、産業界の需要に関するレビュー及び経済予測データの分析等が活用され、上述の Educational Master Plan に組み込まれることになっている。

---

<sup>34</sup> 協定先は以下を参照。

<http://www.laney.edu/wp/articulation/information-links/>

<sup>35</sup> 詳細は <http://www.laney.edu/wp/counseling/concurrent-enrollment/> 参照。

<sup>36</sup> Peralta Community College District 発行の 'Instructional Program Review Handbook Spring 2007' 参照。

<http://web.peralta.edu/indev/research-data/documents/>

#### 4-3-5. 補習教育 : Remedial Education

補習教育の主眼は、カレッジレベルの学習に対する準備が不十分な学生たちに対して読解力、批判的思考、分析力といった基礎能力を習得させ、学生の希望するコース学習のレベルに引き上げるところにある。Laney college では、機関の教育予算のうち、補習教育に約 20%が当てられている。

なお、Laney college をはじめ、カリフォルニア州のコミュニティ・カレッジにおいて多くの補習授業（特に英語と数学）が必要とされる背景には、オープンアクセスと関連した次の 3 つの要因があるという。

- (a) 英語・数学に関してカレッジレベルに達していない高校卒業者。
- (b) キャリアアップなどを目指して再び教育機関に戻ってくる社会人学生(多くの場合、教育機関から離れて時間が経っており、基礎能力に関する再教育を要する)。
- (c) 英語を母語としない移民の学生。

Laney college では、特に (c) の学生に対する gateway としての役割を果たすため、ESL 教育が非常に重要視されている。多様な環境下にある、多様な年齢層の学生の受け入れは、Laney college が位置するオークランドの多様性を反映したカレッジ作りという、カレッジ・ミッションの特徴をよく表している。

#### 4-3-6. 高等学校との接続 : Connection with High School

Laney College は、オークランド統一学校区 (Oakland Unified School District) と正式な提携関係を結び、キャンパスツアーをはじめ、様々な援助活動、二重登録 (concurrent enrollment) プログラム、オークランド統一学校区在住の 16 歳から 20 歳の学生に対する奨学金制度 Gateway to College Program などを提供している<sup>37</sup>。

#### 4-3-7. コミュニティとの連携 : Linkage with Community

##### 諮問委員会 (Advisory Committee)

サンフランシスコ・ベイエリアの中核コミュニティ・カレッジとして、Laney college にはビジネス・産業・連邦政府・4 年制高等教育機関及び地区の高校との継続的な協力関係が求められており、地域の文化・経済・社会及び労働力に対するニーズに応えるため、企業及び 4 年制高等教育機関等のリーダーを構成員とする諮問委員会を設置して、地域との連携を深めている。

全てのキャリア・技術系教育プログラムに対して担当委員会が設けられ、Laney college

---

<sup>37</sup> プログラム参加資格と参加要件は <http://www.laney.edu/wp/gateway/> 参照。

の Educational Master Plan 及びコア・カリキュラムが市場及びその他の社会的需要に適合しているかどうかについて定期的に協議がなされている。この過程において重要視されるのは、教育及び学生支援プログラム・サービスに関する包括的な方向付けとアセスメント、カウンセリング、英語・数学・情報システムに関する個別指導と基本的スキル習得コース、そしてインターンシップを含む コーオペ教育 (co-operative education) <sup>38</sup>の経験である。

なお、Laney college はコミュニティのメンバーないしグループからの専門的な支援等をしばしば受けており、このようなサポートを通していくつかの実験・実習室の改修や設備のアップグレードが行われたなどの実績もある。

---

<sup>38</sup> 教室でのカリキュラムとその専門分野に関連した職業体験を統合させたアカデミックなプログラムであり、学生、教育機関、雇用者という 3 者の協力から実施されるプログラムであることから co-operative education と呼ばれている。コーオペ教育を含む職業統合的学習については以下を参照。

吉本圭一・稲永由紀編「諸外国の第三段階教育における職業統合的学習」『高等教育研究叢書』第 112 号、広島大学高等教育研究開発センター 2013 年 3 月。

## 結び

本調査研究報告書は、文部科学省「平成 25 年度先導的・大学改革推進委託事業」による『米国における短期高等教育機関の社会（地域）貢献及びその評価に関する調査研究』の成果報告として取りまとめたものです。

調査は、米国のビッグ 6 と呼ばれる高等教育関係団体、ワシントン D.C. 及びサンフランシスコのコミュニティ・カレッジを訪問し、対面形式で実施しました。今回訪問した全ての団体及び大学において、それぞれ多忙にもかかわらず、聞き取り調査では多くの方々の協力の下、詳細な説明をいただいたことに心から感謝申し上げます。非常に限られた調査期間であることを考慮し、あらかじめ調査研究チームによる聞き取りのポイントを絞り整理して面会に臨んだので、全体的にスムーズに調査のねらいとした事項を知り得ることができました。

米国と日本では、短期高等教育機関における社会（地域）貢献に関する文化やニーズ、関係法令等や設置形態の違いから、今回得られた成果をそのまま日本において実施・実行するには大きな壁がありますが、その中においても、短期高等教育機関としての「短期大学」という名称を今後（再）定義する必要があるのか、教育体制は現状のままで良いのか、教育の質保証や評価の在り方に問題点はないのか、地域と短期大学との関係においてコミュニティのニーズに応えられる体制をどのように構築していくのかなど、今後再考しなければならない重要な点を見い出すことができたことは大きな成果ではないかと考えています。

折しも中央教育審議会の大学分科会大学教育部会における短期大学ワーキンググループの審議が始まり、今後の短期大学の在り方が積極的に議論されていく中で、本調査研究で得られた成果が少しでも貢献できれば幸いです。

おわりにあたり、本協会に委託事業の機会を与えてくださった文部科学省高等教育局の皆様、様々な連絡調整にご尽力いただいた竹田事務局長・櫻井事業課長・関係職員の皆様と、米国の各機関との調整を含め多くのアドバイスをいただいた本協会理事のジョイス 津野田幸子先生に心から感謝の意を表します。

一般財団法人短期大学基準協会 理事  
国際交流推進チーム

麻生 隆史

# 資料編



## I. 質問事項

### 1. 米国教育評議会 (American Council on Education : ACE)

- (1) Statistical information about higher education institutions
  - (a) Total number of institutions of higher education
  - (b) Number of institutions, by types (i.e. four-year, two-year)
  - (c) Student enrollment : gender and attendance status (full-time and part-time)
  - (d) Completion rates
    - 1. Number of graduates from four-year and two-year institutions
    - 2. Gender of graduates (ratio M/F)
    - 3. Average number of years taken to complete the four-year degree; two-year degree
    - 4. What are the most popular four-year degrees and two-year degrees?
- (2) The relationship between the ACE and federal governmental educational agency, U.S. Department of Education.
  - (a) What are the differential roles and functions in higher education between the ACE and the U.S. Department of Education?
  - (b) Is there any direct or indirect control from the federal agency?
  - (c) Are there any other federal agencies that impact on or have functions that relate to higher education?
- (3) The relationship between the ACE and regional accrediting association such as the Accrediting Commission for Community and Junior Colleges (ACCJC)
  - (a) What are the differential roles and functions in higher education between the ACE and regional accrediting agencies such as the ACCJC?
  - (b) Is there any direct or indirect control of the regional accrediting agencies from ACE?
- (4) Recent federal or state policies for higher education
  - (a) Are there any common nation-wide agenda for higher education, and who sets them?
  - (b) Are there federal and state policies for subsidizing higher education institutions? Of students directly?
- (5) What do you consider to be the strongest and the weakest points of American

higher education? What are the biggest challenges facing American higher education at this time?

2. 米国コミュニティ・カレッジ協会 (American Association of Community Colleges : AACC)

- (1) What is the basic role and function of the AACC?
- (2) Membership
  - (a) Number of member colleges: public and private (not-for-profit and for-profit).
  - (b) Sources of funding for management and operation? Membership fees?
  - (c) Main services and supports provided to member colleges
  - (d) How is AACC governed? Selection of board? Of the President? Of the staff?
- (3) Statistical information about America's community colleges
  - (a) Number of colleges
  - (b) Student enrollment : gender and attendance status (full-time and part-time)
  - (c) Graduation rates and numbers, by gender and majors.
  - (d) Number of graduates of community and junior colleges: type of certificates and degrees.
  - (e) Percentage of students who graduate with associate degrees in two years?
  - (f) What is the average number of years taken to obtain associate degrees?
  - (g) What are the degree completion rates, drop-out rates and stop-out rates? Overall, what percentage of students who leave without completing their degree of certificate each year?
  - (h) Number of transfer students admitted to four-year institutions and the baccalaureate attainment rates of community college transfer students? How do the baccalaureate and graduate degree attainment rates of transfer students as compared to students who start at the four-year institutions?
  - (i) What is the reverse transfer rate (i.e. four-year to two year institutions)? Is this a common phenomenon in American higher education?
- (4) The relationship between the AACC and the federal educational agency, U.S.

Department of Education

- (a) What are the differential roles and functions in higher education between the AACCC and the U.S. Department of Education?
  - (b) Is there any direct or indirect control of the AACCC from the federal government?
- (5) The relationship between the AACCC and regional accrediting association such as the Accrediting Commission for Community and Junior Colleges (ACCJC)
- (a) What are the differential roles and functions in higher education between the AACCC and the ACCJC?
  - (b) Is there any direct or indirect control of the ACCJC from the national organizations such as the AACCC or the ACE?
- (6) Recent federal or state policy for community colleges
- (a) Are there any nation-wide higher educational agenda, and who sets them?
  - (b) Are there federal and state policies for subsidizing community colleges? Of students directly?
- (7) Role and function of community colleges
- (a) How are community colleges defined?
  - (b) What is the basic mission of community colleges?
  - (c) What is the difference between private two - year colleges and public two - year colleges in terms of educational roles and functions?
  - (d) Are private for-profit and not-for-profit colleges considered to be “community colleges”? Examples of private for-profit and private not-for-profit community colleges?
  - (e) What do you think are the strongest and the weakest points of American community colleges? What do you consider to be the biggest challenge for American higher education and in particular the community colleges?
3. 米国西地区学校・大学基準協会／二年制高等教育認定委員会（Western Association of Schools and Colleges / Accrediting Commission for Community and Junior Colleges : WASC / ACCJC)
- (1) The relationship between the ACCJC and the federal educational agency, U.S. Department of Education
- (a) What are the differential roles and functions in higher education between

- the ACCJC and the federal agency?
- (b) In addition to the U.S. Office of Education, are there any other federal agencies that relate to or impact on the function of ACCJC?
  - (c) Is there any direct or indirect control of the ACCJC from the federal government?
- (2) The relationship between the ACCJC and national educational association such as the American Association of Community Colleges (AACC) or the American Council on Education (ACE)
- (a) What are the differential or overlapping roles and functions in higher education among the AACJC, the AACC and the ACE?
  - (b) Is there any direct or indirect control of the ACCJC from the AACC or the ACE?
- (3) Recent federal or state policies for community colleges
- (a) Is there any nation-wide educational agenda relating to accreditation, and who sets them?
  - (b) Are there federal and state policies affecting accreditation?
  - (c) How are community colleges defined?
  - (d) What is the core mission of community college?
  - (e) Is there any difference in your evaluation of private colleges and public colleges?
  - (f) How many for-profit and not-for-profit private community colleges are in your region? Examples of private for-profit and private not-for-profit colleges?
  - (g) Are private for-profit and not-for-profit colleges considered to be "community colleges"?
- (4) Relationship with communities
- (a) What is the most important factor for "college to community partnership"?
  - (b) How do you evaluate "college to community partnership" programs and activities?
- (5) What are the strongest and weakest points of American community colleges? What do you consider to be the biggest challenge for American community colleges, particularly in terms of institutional accreditation?
- (6) Statistical information about your college

- (a) Student enrollment : gender and attendance status (full-time and part-time)
  - (b) Number of graduates: type of certificates, gender and ratio of the graduates to enrollment?
  - (c) Degree completion rate, stop-out, drop-out rates, non-completers (those who leave without completing their educational program).
  - (d) Articulation and transfer agreements: how many such agreements do you have? With which institutions? How well do such agreements work? How do you establish articulation and transfer agreements? May we see a sample of articulation agreement? Transfer policies? Are there any concurrent registration policies?
  - (e) Are there any direct and indirect relationships with high schools?
- (7) Mission and fulfilment
- (a) What is your core mission?
  - (b) How is the mission reflected in your operations and policies, i.e. admission, curriculum, matriculation, etc.?
  - (c) How do you fulfil connections with your community in your programs?
  - (d) Do you receive manpower and financial supports from your community?
  - (e) What degrees and certificates do you offer? How do you determine what degrees and certificates to offer? Do you ever stop or eliminate existing degrees or certificates?
  - (f) What are the minimum qualifications of your faculty? What is expected of them as a faculty of a community college?
  - (g) How do your faculty and staff feel about being a community college faculty? How do they feel about students who come in through the Open Door without entrance examination?
- (8) Quality assurance
- (a) What kinds of remedial education do you offer to help students who do not meet collegiate level academic standards? What percentage of your instructional budget is used for remedial education?
  - (b) Do you have regular cycles of program planning, development and assessment of programs? If so, how do you implement that?
  - (c) What are the strongest and weakest points of your college now?
  - (d) What do you think are the biggest challenges for American higher education now? What are the community colleges' challenges?

- (9) Continuing Education/Community Services Programs
- (a) Do you have a program of Continuing Education/Community Services at your institution?
  - (b) How is it organized?
  - (c) How is it funded?
  - (d) What is its relationship and status relative to the degree-granting programs?
  - (e) How does that program relate to and work with the communities?

4. コミュニティ・カレッジ（質問事項は共通）

- (1) Statistical information about your college
- (a) Student enrollment : gender and attendance status (full-time and part-time)
  - (b) Number of graduates: type of certificates, gender and ratio of the graduates to enrollment?
  - (c) Degree completion rate, stop-out, drop-out rates, non-completers (those who leave without completing their educational program).
  - (d) Articulation and transfer agreements: how many such agreements do you have? With which institutions? How well do such agreements work? How do you establish articulation and transfer agreements? May we see a sample of articulation agreement? Transfer policies? Are there any concurrent registration policies?
  - (e) Are there any direct and indirect relationships with high schools?
- (2) Mission and fulfilment
- (a) What is your core mission?
  - (b) How is the mission reflected in your operations and policies, i.e. admission, curriculum, matriculation, etc.?
  - (c) How do you fulfil connections with your community in your programs?
  - (d) Do you receive manpower and financial supports from your community?
  - (e) What degrees and certificates do you offer? How do you determine what degrees and certificates to offer? Do you ever stop or eliminate existing degrees or certificates?
  - (f) What are the minimum qualifications of your faculty? What is expected of them as a faculty of a community college?
  - (g) How do your faculty and staff feel about being a community college faculty?

How do they feel about students who come in through the Open Door without entrance examination?

(3) Quality assurance

- (a) What kinds of remedial education do you offer to help students who do not meet collegiate level academic standards? What percentage of your instructional budget is used for remedial education?
- (b) Do you have regular cycles of program planning, development and assessment of programs? If so, how do you implement that?
- (c) What are the strongest and weakest points of your college now?
- (d) What do you think are the biggest challenges for American higher education now? What are the community colleges' challenges?

(4) Continuing Education/Community Services Programs

- (a) Do you have a program of Continuing Education/Community Services at your institution?
- (b) How is it organized?
- (c) How is it funded?
- (d) What is its relationship and status relative to the degree-granting programs?
- (e) How does that program relate to and work with the communities?

## II. 參考資料

### 【1. ACE】

**Partnering with  
U.S. Higher Education**

**Brad Farnsworth**  
Assistant Vice President  
American Council on Education

February 3, 2014

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization & Global Engagement

**American Council on Education (ACE)**

**Mission and Goals**

- Umbrella organization
- Leadership and a unifying voice
- Advocacy, research, programs

**Membership**

- Approximately 1800 institutions
- All sectors of U.S. higher education

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization & Global Engagement

**ACE Center for Internationalization &  
Global Engagement (CIGE)**

Internationalization of U.S. institutions	Global Engagement
<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Mapping Internationalization on U.S. Campuses</i></li> <li>• Internationalization Collaborative</li> <li>• Internationalization Laboratory</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>International Briefs for Higher Education Leaders</i></li> <li>• Transatlantic Dialogues</li> <li>• International delegation visits</li> </ul>

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization & Global Engagement

**The "Big Six"**

American Council on Education (ACE)	American Association of State Colleges and Universities (AASCU)	American Association of Community Colleges (AACCC)
Association of American Universities (AAU)	Association of Public and Land-grant Universities (APLU)	National Association of Independent Colleges and Universities (NAICU)

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization & Global Engagement

**Overview**

- Big, complex enterprise
- No Ministry of Education
- Federal government provides a lot of money

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization & Global Engagement

5

**Overview**

- Federal government uses different mechanisms for support
- Higher education is a public good/private good
- Economic turmoil

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization & Global Engagement

6

## Big, Complex Enterprise

	1995-96	2005-06	2010-11
number of degree-granting institutions	3,706	4,276	4,703
total enrollment	14,261,781	17,487,475	20,994,113
total degrees awarded	2,247,695	2,936,095	3,552,640
number of instructional faculty	931,706	1,290,426	1,523,615
number of staff (incl. faculty)	2,662,075	3,379,087	3,840,980

## Big, Complex Enterprise

Fall 2011 institutions: 4,703 enrollment: 20,994,113	Public	Private
<b>Two-year</b>	967 institutions (21%) 7,062,467 students (34%)	770 institutions (16%) 437,515 students (2%)
<b>Four-year</b>	238 institutions (5%) 1,189,777 students (6%)	1,731 institutions (37%) 1,809,667 students (9%)
<b>University</b>	444 institutions (9%) 6,857,952 students (33%)	553 institutions (12%) 3,636,735 students (17%)

## No Ministry of Education

## Federal Support for Colleges and Universities

	1991	2012
student aid	\$35 billion	\$156 billion
research	\$10 billion	\$41 billion
tax support	< \$1 billion	\$34 billion

## Federal Mechanisms

- Aid to families/students
  - grants
  - loans
  - tax breaks
  - subsidized jobs

## Federal Mechanisms

- Aid to institutions
  - grants
  - contracts
  - cooperative agreements
- State governments
  - add: operating support

## Public Good / Private Good

- Historic view: public and private
- Today's view: mostly private good
- Private benefits are considerable
- Public benefits less easy to measure
- High cost of maintaining it as public good

## Public Good / Private Good

- Students / Families bear primary responsibility for funding education, not the government
- Rapid increase in tuition is affecting both families and government

## Recent Economic Turmoil Created "Perfect Storm" For Colleges and Universities

- All resources are affected:
  - state support down
  - endowments decline
  - giving and charitable contributions drop
  - value of family assets to pay for college has shrunk

## Other Pressures Magnify Impact of Resource Reductions

- Demand for higher education going up:
  - more people want to enroll
  - many need financial assistance

## Schools Taking Action to Cut Expenditures and Raise Revenue

- Salary freezes
- Hiring limitations
- Construction deferred
- Tuition increases, especially at public colleges

## Enrollment Soared Despite Turmoil and Increased Cost

	Public 4-year	Private 4-year	Public 2-year	Other	Total
2005	6.8 million	4.2 million	6.2 million	300K	17.5 million
2008	7.3 million	4.8 million	6.6 million	400K	19.1 million
2011	8 million	5.4 million	7 million	437K	20.9 million

Source: IPEDS (2005, 2008 data); Digest of Education Statistics, NCES (2011 data) Updated 10.13

## The Student Experience

**Choice**

- Admission to institution rather than program
- Late specialization
- Major, minor, double major, etc.
- Easy transfer

**Educating the "whole person"**

- Liberal arts/general education
- Critical and independent thinking
- Co-curricular activities
- The "college experience"

**Broad access**

- Not just "elite"
- Financial aid available

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization and Global Engagement

## Current Issues & Trends

- Tight budgets
- Non-traditional students
- Accountability & job preparation
- National completion & attainment agenda
- Accreditation & quality control
- For-profit sector & distance education
- International Focus

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization and Global Engagement

## The CIGE Model for Comprehensive Internationalization

*A strategic, coordinated process that seeks to align and integrate policies, programs and initiatives to position colleges and universities as more globally oriented and internationally connected institutions.*

- Institutional Structures & Support
- Curriculum, Co-Curriculum & Learning Outcomes
- Faculty Policies & Opportunities
- Student mobility
- Collaboration & partnerships

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization and Global Engagement

## International Students in the U.S.

Total number (2010/11):  
**723,277**

Source: IE Open Doors

Top sending countries:  
China, India, S. Korea

Source: IE Open Doors

**Institutional motivations**

- International perspectives
- Enhance student learning
- Public diplomacy
- Revenue
- "Flags in the cafeteria"

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization and Global Engagement

## Preparing for the Global Showcase

*What do U.S. institution representatives want to know?*

<b>Home country higher education systems</b>	<b>Institutional partnerships</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Structure of undergraduate education</li> <li>• Admission procedures</li> <li>• Degree equivalency to the U.S.</li> <li>• Course requirements (e.g. general education requirements)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Government policies</li> <li>• How to find a partner institution</li> </ul>	<b>Availability of government support for U.S. study</b>
	<b>Effective recruiting strategies</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Funding and scholarships</li> <li>• Policies and programs</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Role of social media</li> <li>• Cultural issues</li> </ul>	

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization and Global Engagement

## Questions?

Center for Internationalization and Global Engagement  
American Council on Education  
[www.acenet.edu](http://www.acenet.edu)

**ACE** American Council on Education  
**CIGE** Center for Internationalization and Global Engagement

**【4-2. Diablo Valley College】**

(2) 準学士号取得申請書

 <b>DIABLO VALLEY COLLEGE</b>	<b>Admissions and Records</b> 321 Golf Club Rd. Pleasant Hill, Ca. 94523 925.685.1230 ☎ fax 925.242.0856																		
<p><b><u>Petition for Certificate of Achievement/Accomplishment</u></b></p>																			
<p>1. Please print your name exactly as you wish it to appear on your certificate.                  2. Only one graduation ceremony is held per academic year. It takes place at the end of the spring semester. Information regarding the ceremony is mailed in May.                  3. If you wish to receive college credit towards a course(s) taken at another institution, it is your responsibility to request that the official transcript be sent to the Admissions and Records Office at Diablo Valley College <b>PRIOR</b> to your request for a certificate evaluation. If you are currently enrolled in courses at another college, please attach a copy of your class schedule to this application, and ensure your official transcripts are submitted by the end of the semester.                  4. Sign the petition and submit it to the Admissions and Records Office by the deadline specified in the schedule of courses.</p>																			
<p>Coursework shall be completed as stated in the DVC College Catalog. Students must meet the minimum GPA requirements. Certificate requirements must be met, or in progress during the current semester before submitting the form. If you are not sure that you have completed all the requirements, please consult your Department advisor. Residency requirements must be met according to the certificate guidelines in the catalog. If you are denied a certificate, reapply during your final semester.</p>																			
<p><b>Name:</b> _____                  (Print name clearly as desired on the Certificate)</p>																			
<p><b>ID #</b> _____</p>	<p><b>Date of Birth:</b> _____ <input type="checkbox"/> Male <input type="checkbox"/> Female</p>																		
<p><b>Current Address</b></p> <p>Street: _____</p> <p>City: _____</p> <p>State: _____ Zip Code: _____</p> <p><b>Home Phone:</b> ( _____ ) _____</p> <p>Email: _____</p>	<p><b>If you will be moving after the end of semester, please give us the address that your certificate should be mailed to approximately 3 months after the end of the semester:</b></p> <p>Street: _____</p> <p>City: _____</p> <p>State: _____ Zip Code: _____ Country: _____</p> <p>Move Date: _____</p>																		
<p><b>Please check one:</b>    <input type="checkbox"/> <b>Certificate of Achievement</b>    <input type="checkbox"/> <b>Certificate of Accomplishment</b></p> <p><b>Title of Certificate:</b> _____</p>																			
<p>Which semester will you be completing your degree requirements? _____</p> <p>Please list the first semester of attendance at DVC: _____</p> <p>Check if any of the following applies:</p> <p><input type="checkbox"/> Other Colleges Attended with coursework that applies to your certificate: _____</p> <p><input type="checkbox"/> Substitution of Graduation Requirement-Course: _____</p>																			
<p style="text-align: center;"><b>Student's Signature</b> _____ <b>Date</b> _____</p>																			
<p><b>Office Use Only:</b></p> <p>1<sup>st</sup> Evaluation:</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">Major:</td> <td style="width: 10%; border-left: 1px solid black; text-align: center;">Met</td> <td style="width: 10%; border-left: 1px solid black; text-align: center;">In Progress</td> </tr> <tr> <td>Units:</td> <td style="border-left: 1px solid black; text-align: center;">Met</td> <td style="border-left: 1px solid black; text-align: center;">In Progress</td> </tr> <tr> <td>GPA:</td> <td style="border-left: 1px solid black; text-align: center;">Met</td> <td></td> </tr> </table> <p>Initial Notification (Date: ) _____</p>	Major:	Met	In Progress	Units:	Met	In Progress	GPA:	Met		<p>End of Semester Evaluation (if necessary):</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">Major:</td> <td style="width: 10%; border-left: 1px solid black; text-align: center;">Met</td> <td style="width: 10%; border-left: 1px solid black; text-align: center;">Did Not Complete</td> </tr> <tr> <td>Units:</td> <td style="border-left: 1px solid black; text-align: center;">Met</td> <td style="border-left: 1px solid black; text-align: center;">Did Not Complete</td> </tr> <tr> <td>GPA:</td> <td style="border-left: 1px solid black; text-align: center;">Met</td> <td style="border-left: 1px solid black; text-align: center;">Did Not Meet</td> </tr> </table> <p>Final Notification (Date: ) _____</p>	Major:	Met	Did Not Complete	Units:	Met	Did Not Complete	GPA:	Met	Did Not Meet
Major:	Met	In Progress																	
Units:	Met	In Progress																	
GPA:	Met																		
Major:	Met	Did Not Complete																	
Units:	Met	Did Not Complete																	
GPA:	Met	Did Not Meet																	
<p>Status:    <input type="checkbox"/> Complete    <input type="checkbox"/> In Progress Eligible    <input type="checkbox"/> Denied                      Status:    <input type="checkbox"/> Complete    <input type="checkbox"/> Denied</p>																			

## *Certificate of Achievement/Accomplishment*

### **Achievement**

Aboriculture  
Addiction Counseling  
Addiction Studies  
Administration of Justice  
Advanced Accounting  
Advanced C++ Programming  
Advanced General Business  
Advanced Java Programming  
Allied Health  
Allied Health Fundamentals  
Architecture Technology  
Art Digital Media-3D Modeling & Animation  
Art Digital Media-Character Animation  
Art Digital Media-Digital Audio  
Art Digital Media-Digital Imaging  
Art Digital Media-Motion Graphics  
Art Digital Media-Web Design  
Baking and Pastry  
Bookkeeping  
Broadcast Communication Arts  
Business Marketing  
Business-Transfer  
Ceramics  
Civil Design Drafting Technology  
Civil Drafting, CAD  
Coaching  
Communication Studies  
Computer Architecture  
Computer Information Systems-Core  
Computer Information Systems-Database Management  
Computer Information Systems-Project Management  
Computer Information Systems-Web Graphics  
Computer Information Systems-Web Technology  
Computer Technical Support  
Computer User Support  
Construction and Building Inspection  
Construction Management  
Construction Supervision and Superintendency  
CSU General Education Breadth  
Culinary Arts  
Dental Assisting  
Dental Hygiene  
Dental Laboratory Technology  
Early Childhood Education-Basic  
Early Childhood Education-Master Teacher  
Early Childhood Education-Site Supervisor  
Early Childhood Education-Teacher  
Electrical/Electronics Technology  
Energy Systems - Photovoltaic  
Energy Systems – Solar Thermal  
French  
General Accounting  
General Business  
Geographic Information Systems/Global Positioning System  
German  
Graphic Design  
Group Exercise Instruction  
Heating, Ventilation, Air Conditioning and Refrigeration  
Horticulture Foundations  
Intersegmental General Ed Transfer Curriculum-IGETC  
Italian  
Japanese  
Landscape Architecture and Design I  
Landscape Architecture and Design II

Landscape Construction and Management  
Landscape Maintenance  
Library Technology  
Management and Leadership Studies  
Mandarin Chinese  
Medical Laboratory Technology  
Mobile and Enterprise Java Programming  
Music Industry Studies  
Nursery Level I: Retail  
Nursery Level II: Wholesale  
Office Professional Painting  
and Drawing Personal  
Training Philosophy  
Plumbing  
Printmaking  
Program Design  
Real Estate  
Restaurant Management  
Russian  
Small Business Management/Entrepreneurship  
Spanish  
Special Education Paraeducator/Instructional Assistant  
Steamfitting  
Technical Theater  
Wealth Management

### **Accomplishment**

Administration of Justice-Community Relations Specialist  
Administration of Justice-Correctional Specialist  
Administration of Justice-Crime Scene Investigator  
Administration of Justice-Criminal Law Specialist  
Administration of Justice-Juvenile Counseling  
Administration of Justice-Patrol Specialist  
Art Digital Media-Foundation  
Broadcast Communication Arts-Basic Digital Field Production  
Broadcast Communication Arts-Basic Studio Production  
Broadcast Communication Arts-Basic Writing for Digital Medium  
Business Essentials  
Computer Aided Drafting & Digital Media for Engin & Archi  
Computer Information Systems-Database Management  
Computer Information Systems-Project Management  
Computer Information Systems-Web Graphics  
Computer Information Systems-Web Technology  
Computer Technical Support  
Early Childhood Education-Associate Teacher  
Geographic Information Systems/Global Positioning System  
Heating, Ventilation, Air Conditioning and Refrigeration  
Office Professional Essentials  
Plumbing

### **\*Discontinued Majors**

Computer & Information Science (disc 12/13)  
Early Childhood Education-Family Day Care Provider/Foster  
Care Provider/ In-Home Child Care Provider (disc 12/13)  
Early Childhood Education-Resource (Foster) Family Specialist  
(disc 13/14)  
Fitness Instruction/Personal Training (disc 11/12)  
Landscape Construction (disc 11/12)  
Landscape Design (disc 11/12)  
Mechanical Design Drafting Technology (disc 12/13)  
Mechanical Drafting, CAD (disc 12/13)  
Microcomputer Software Support (disc 11/12)  
Microsoft Windows Systems Administration disc 12/13

**\*Discontinued Majors: Only students who have maintained catalog rights through continuous enrollment are eligible to apply for majors that are currently discontinued. Please visit the Counseling Office to confirm catalog rights. If you do not see your major on this list, contact the Counseling Office.**

\*[http://www.dvc.edu/pdfs/Application\\_for\\_Degree.pdf](http://www.dvc.edu/pdfs/Application_for_Degree.pdf)

(3) 修了証取得申請書



**Admissions and Records**  
 321 Golf Club Rd. Pleasant Hill, Ca. 94523  
 925.685.1230 ☎ fax 925.609.8085

**PETITION FOR AA/AS DEGREE**

1. Official transcripts and test scores used towards degree requirements must be on file, or provided at the time of submission.
2. Diplomas are mailed out up to **8 weeks** after grades are submitted at the close of each semester.
3. At least 12 units must be completed at DVC.
4. One commencement ceremony is held per academic year in May, invitations will be sent from the Office of the President.
5. Major courses required for AA/S-T Transfer degrees do not allow Pass/No Pass grades.
6. Adhere to the degree filing period, which is published in the schedule calendar and online.

Name: \_\_\_\_\_  
*(Print clearly name as desired on the Diploma-First, Middle, Last, Suffix)*

ID# \_\_\_\_\_ Date of Birth: \_\_\_\_\_  Male  Female Graduating Term SP SU FA

**Correspondence and status letters will be emailed to your college-issued Insite email address.**

Current Address: Street: _____ City: _____ State: _____ Zip: _____ Home Phone: _____	<b>If you will be moving;</b> where should we mail your diploma about 6-8 weeks after the end of the semester: Street: _____ City: _____ State: _____ Zip: _____ Country: _____ Move Date: _____
Title of Degree: _____ <i>(refer to list on back-only one degree per application)</i> <i>If you do not know what major you are eligible for, visit a counselor before submitting this application.</i>	

General DVC AA/S degrees use DVC-Gen Ed. SB1440 Transfer Degrees may use either CSUGE or IGETC for general education.

Only if applying for an AA-T or AS-T degree, which pattern completes your general education?:  IGETC Gen Ed  CSUGE Gen Ed

Substitution Form Submitted for which requirement?: \_\_\_\_\_

Check if any of the following will be used for your degree:  AP/SAT Test Scores  Military Credit  High School

Other Colleges Attended: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_  
**Student's Signature**

Office Use Only

<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					

## *Associate in Arts and Associate in Science Degree*

### **Associate of Arts**

Art Digital Media  
Broadcast Communication Arts  
Dance  
English  
Fine Arts  
French  
Graphic Design  
Italian  
Japanese  
Letters and Science-Area of Emphasis-Humanities  
Mandarin Chinese  
Music  
Music Industry Studies  
Philosophy  
Political Science  
Social/Cultural Geography  
Spanish  
Special Education Paraeducator/Instructional Asst.  
Technical Theater

### **Associate of Science**

Accounting  
Addiction Counseling  
Addiction Studies  
Administration of Justice  
Allied Health  
Architecture Design  
Architecture Technology  
Biology  
Business  
Civil Design Drafting Technology  
Civil Engineering  
Computer Information Systems  
Computer Science  
Computer Technical Support  
Construction-Construction Management  
Construction-Construction and Building Inspection  
Construction-Construction Supervision and Superintendency  
Dental Assisting  
Dental Hygiene  
Dental Laboratory Technology  
Early Childhood Education  
Electrical/Electronics Technology  
Electrical Engineering and Computer Engineering  
Energy Systems  
    Photovoltaic  
    Solar Thermal  
Environmental Science  
Fitness Instruction  
Geographic Info. Systems/Global Positioning System  
Geology  
Health Education  
Heating, Ventilation, Air Conditioning and Refrigeration  
Hospitality Studies - Baking and Pastry

Hospitality Studies - Culinary Arts  
Hospitality Studies - Restaurant Management  
Kinesiology – Coaching  
Kinesiology-Sports and Recreation Management  
Library Technology  
Life Science  
Mechanical Engineering  
Medical Laboratory Technology  
Meteorology  
Microsoft Windows Systems Administration  
Natural Science  
Physical Geography  
Plumbing  
Sports Medicine/Athletic Training  
Steamfitting

### **AA/AS-T Transfer Degrees (SB1440)**

(AS-T) Administration of Justice for Transfer  
(AA-T) Anthropology for Transfer  
(AA-T) Art History for Transfer  
(AS-T) Business Administration for Transfer  
(AA-T) Communication Studies for Transfer  
(AS-T) Early Childhood Education for Transfer  
(AA-T) English for Transfer  
(AA-T) Geography for Transfer  
(AS-T) Geology for Transfer  
(AA-T) History for Transfer  
(AA-T) Journalism for Transfer  
(AS-T) Mathematics for Transfer  
(AA-T) Music for Transfer  
(AS-T) Physics for Transfer  
(AA-T) Political Science for Transfer  
(AA-T) Psychology for Transfer  
(AA-T) Sociology for Transfer  
(AA-T) Studio Arts for Transfer

### **\*Discontinued AA/AS Degrees**

Business – Transfer (disc 13/14)  
Business - Advanced General Business (disc 13/14)  
Business - Business Marketing (disc 13/14)  
Business - Management & Leadership Studies (disc 13/14)  
Business - Real Estate (disc 13/14)  
Business - Small Business Managmt/Entrep (disc 13/14)  
Business - Wealth Management (disc 13/14)  
Coaching (disc 11/12)  
Communication Studies (disc 13/14)  
Fitness Instruction/Personal Training (disc 11/12)  
Mathematics (disc 13/14)  
Mechanical Design Drafting Technology (disc 12/13)  
Psychology (disc 12/13)  
Transfer Studies – CSU (disc Fall 08)  
Transfer Studies – IGETC (disc Fall 08)

**\*Discontinued Majors: Only students who have maintained catalog rights through continuous enrollment are eligible to apply for majors that are currently discontinued. Please visit the Counseling Office to confirm catalog rights.**

\*[http://www.dvc.edu/pdfs/Application\\_for\\_certificate.pdf](http://www.dvc.edu/pdfs/Application_for_certificate.pdf)



(5) New Course Proposal

**NEW COURSE PROPOSAL - DIABLO VALLEY COLLEGE**

Subject Code	Course Number	Proposed Course Title	Units	Date
--------------	---------------	-----------------------	-------	------

- Credit**  
 Student Choice(SC)  
 Letter Grade (LR)  
 Pass/No Pass (P/NP)
- Non-Credit**  
 **Credit by Exam**  
*\*Please fill out CBE form on WCS*

**Rationale:**

1. What is the rationale for offering this course? How will this course meet student and community needs and improve the college curriculum?
2. How does this course differ from others with similar content?
3. Has this course been previously offered as a Topics or Experimental Course? If so, please list course number below (example HORT-150N).

**Library/Media:** Are present resources adequate to support this course? Yes  No

**This course is proposed for:**

Please check the appropriate boxes.

- |  |        |
|--|--------|
| a. <input type="checkbox"/> DVC General Education  | AREA:  |
| b. <input type="checkbox"/> AA/AS Major or Area of Emphasis  | TITLE: |
| c. <input type="checkbox"/> Certificate of Achievement/ Accomplishment   | TITLE: |
| d. <input type="checkbox"/> CSU General Education  | AREA:  |
| e. <input type="checkbox"/> CSU Transferrable  | AREA:  |
| f. <input type="checkbox"/> GETC   | AREA:  |
| g. <input type="checkbox"/> UC Transferrable   |        |
| h. <input type="checkbox"/> Course articulation with CSU or UC. List two comparable <b>lower-division</b> courses: |        |

CSU/US Campus	Subject and Course Number	Course Title
1.		
2.		

**Proposed Class Maximum:** \_\_\_\_\_ **Approved:** \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 Vice President of Instruction Date

*Course max must be approved before course is submitted for Tech Review*

Signatures: *(Initiator signs and forwards to the Instruction Office for the Tech Review Committee)*

1. \_\_\_\_\_ 3. \_\_\_\_\_  
 Initiator Date Vice President of Instruction Date

2. \_\_\_\_\_  
 Curriculum Committee Chair Date

TECH REVIEW ONLY			
Program Applicability	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	Program/s: Effective Date:
Work-Based Learning	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	
Basic Skills	<input type="checkbox"/> Yes	<input type="checkbox"/> No	
Course Level (ENGL/ESL/MATH only)			
TOP			
CIP			
SAM			
GE Subcommittee	Date Approved :		Area:
Course Family:			

For Schedulers only: Scheduler \_\_\_\_\_ Entered in datatel \_\_\_\_\_

(6) 同時履修プログラム参加申込書

**UCB-DVC CONCURRENT ENROLLMENT PARTICIPATION FORM SPRING 2014**

- You are required to view the UCB-DVC Concurrent Enrollment orientation video, available at <http://www.dvc.edu/org/departments/counseling/enrollconcurrent.htm>.
- Provide the information requested below. **NOTE: Only InSite Mail addresses are acceptable.** If you need assistance in accessing or using your InSite Mail account, email it-help@4cd.edu. **Incomplete, illegible, or incorrectly written information may disqualify you from participation in the Concurrent Enrollment program!** Please fill out the form carefully.
- Read the statements below. If you determine that you are eligible to participate in concurrent enrollment with UCB, then sign, date, and return page 1 of this form to Mark Isham in the Counseling Center. **See page 2 for the deadline.**

-----  
**Please PRINT clearly!**

Your name as it appears in DVC official records:

Last \_\_\_\_\_ First \_\_\_\_\_ Middle \_\_\_\_\_

Your 7-digit DVC ID number: \_\_\_\_\_ DOB (MMDDYY): \_\_\_\_\_

Your InSite Mail address: \_\_\_\_\_@insite.4cd.edu

(If you need assistance accessing or using your InSite Mail account, visit the Welcome Center at DVC Pleasant Hill, or go to <http://www.dvc.edu/org/departments/a-and-r/vikingemail.htm>).

Phone number (include area code): \_\_\_\_\_

The first term you attended DVC: \_\_\_\_\_

The most recent term you completed at DVC: \_\_\_\_\_

List other colleges/universities you have attended (make sure DVC has copies of your transcripts):

\_\_\_\_\_

I have participated in UCB-DVC Concurrent Enrollment before: Yes No If yes, when: \_\_\_\_\_

I certify that I have viewed the UCB-DVC Concurrent Enrollment orientation video and that I am eligible to participate in concurrent enrollment because I meet **each** of the following criteria:

- I will have earned at least 20 UC-transferable units by the beginning of the concurrent enrollment term.
- I will have earned a GPA of at least 2.4 on all of my UC-transferable units by the beginning of the concurrent enrollment term.
- I will have completed English 122 or its equivalent with a grade of C or better by the beginning of the concurrent enrollment term.
- I have never attended a four-year college or university under **regular admission**.
- Any transcripts from other schools are on file in the DVC Admissions and Records office.
- I will enroll in at least 12 combined UCB and DVC units during the term of concurrent enrollment.
- I meet all other eligibility requirements as described in the orientation video.

Signature: \_\_\_\_\_

Date: \_\_\_\_\_

## IMPORTANT DATES AND DEADLINES FOR CONCURRENT ENROLLMENT

### Spring 2014

- DVC Spring semester begins Monday, January 13, 2014.
- UCB Spring semester begins Tuesday, January 21, 2014.
- Submit UCB-DVC Concurrent Enrollment Participation form to Mark Isham in the DVC Counseling Center no later than **1:00 p.m. on Friday, January 3, 2014.**
- Check your InSite Mail account for an email from Mark Isham that includes the Concurrent Enrollment petition, which you will take to the first day of the UCB class for required signature(s). Confirm your class choice is not on the UCB restricted class list.
- Submit the signed UCB Concurrent Enrollment Petition form to Mark Isham in DVC Counseling Center no later than **1:00 p.m. Friday, February 7, 2014. Late submissions will not be accepted.**
- Check your InSite Mail account regularly for any important news, updates, and documents about UCB Concurrent Enrollment.
- Friday, February 21, 2014: Deadline to drop the UCB class without a W.
- Friday, March 14, 2014: Last day to withdraw without “semester out” penalty. “W” will show on transcript. If you drop the UCB class after this date, you must stay out of the Concurrent Enrollment program for one semester before you are allowed to participate again, if you qualify for participation.
- March 17-23, 2014: DVC Spring Break.
- March 24-28, 2014: UCB Spring Break.
- Friday, May 9, 2014: Deadline to withdraw from the UCB class; “W” will show on transcript.
- Be sure to notify Mark Isham, [misham@dvc.edu](mailto:misham@dvc.edu), if you want to drop the UCB class.
- Remember: You **must** maintain full-time enrollment between your DVC and UCB units. You may be enrolled at other institutions, but *your DVC+UCB units must equal 12+ units.*

Questions? Email Mark Isham in the DVC Counseling Center: [misham@dvc.edu](mailto:misham@dvc.edu).

**Keep this page for your reference.**

\*<http://www.dvc.edu/org/departments/counseling/pdfs/participation-form.pdf>

(7) DVC : Career Pathways and High School Articulation

High School	Teacher	High School Course	DVC Course	Renewal
Alhambra High	Jeffrey Smith	ROP Computer Aided	Engineering 126	Fall 2015
Antioch High School	Joan Ivarson	ROP Culinary Arts ROP Advanced Culinary	Culinary 153	Fall 2014
Amador High School (Tri- Valley)	Debbie Harvey	Catering	Culinary 105 Culinary 153	Fall 2015
Benicia High	Annette Fewins	Digital Design	Art Digital Media	Fall 2014
Benicia High School	Peg Klug	Culinary Arts I Culinary Arts II	Culinary 105 Culinary 153	Spring 2015
California High School	Cynthia Bonagura	ROP Careers in Teaching	Education 120	Spring 2015
California High School	Crista Haar	Culinary Arts 1 Culinary Arts 3	Culinary 153 Culinary 105	Fall 2015
Concord High School	Laurie Harris	ROP Computerized Accounting	Business Accounting 181	Spring 2013
Dublin High School	Jackie Lawson	Catering Culinary Arts III/IV	Culinary 153 Culinary 105	Spring 2014
Granada High	Dianne Russell	Culinary Arts	Culinary 153	Fall 2014
Hercules High	Janet Headington	ROP Careers in Teaching	Education 120	Spring 2015
Liberty High School	Karen Ghannadan	Culinary and International Cuisine	Culinary 105 Culinary 153	Spring 2014
Livermore High	Dianne Russell	Culinary Arts	Culinary 153	Fall 2014
Miramonte High School	Aileen Gell	Computer Aided Design Engineering Drawing	Engineering 119/Architecture 119 Engineering	Spring 2015
Monte Vista High School	Mike Huntsman	ROP Architectural Design	Engineering 126/Architecture	Fall 2015
Mount Diablo High School	Randy Depew	Multimedia	Art Digital Media 110	Spring 2013
Mount Diablo High School	Debbie Allen	ROP Commercial Baking ROP Restaurant Careers	Culinary 105 Culinary 153	Fall 2015
Mount Diablo	Steve Seaman	ROP Construction	Construction 135	Spring 2013
Northgate High	David Hevel	Design A/B	Art Digital Media	Fall 2014

\*<http://www.dvc.edu/org/departments/careerpathways/pdfs/DVC-CTE-HS-Articulation-Agreements.pdf>